

ID

文化振興財団

経営状況説明書

公益財団法人浜松市文化振興財団の
令和7年度事業計画

目 次

	頁
1 令和7年度事業計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 令和7年度予算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	45

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和 7 年度事業計画について

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和 7 年度事業計画を地方自治法
第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 中 野 祐 介

令和 7 年 度

事業計画の概要

令和7年度 公益財団法人浜松市文化振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

令和6年度は、社会経済の緩やかな回復が見られた一方、物価高騰による運営費用への影響が大きい年度となりました。今後も先行き不透明な状況が継続することが見込まれるため、令和7年度においても引き続きコストと効率性を意識した運営に努めます。

令和7年度の文化事業では、第12回浜松国際ピアノコンクールの優勝者ツアーをはじめとする事業を展開し、「音楽の都・浜松」としての都市ブランドを更に高めます。

施設運営面においては、令和7年度から5年（令和7年7月から令和11年9月末まで）にわたるアクトシティ浜松の施設大規模改修工事と部分休館が開始することを受け、この改修工事期間を新しい運営ノウハウを蓄積するチャンスととらえ、アクトシティ浜松内の稼働部分と周辺民間施設等を併用した市民文化活動の機会創出、中心市街地の活性化、コンベンションや大会式典等の開催促進につなげます。あわせて、施設利用者や市民への丁寧な周知、浜松市や関係各所との調整、その他必要な諸事項を進めます。

令和7年度においても、事業と施設運営を通じて、市民、市民文化団体及び企業等との協力と連携を深め、多様な芸術文化活動を展開し、これらの活動が生み出す様々な価値を都市の活力につなげ、創造都市浜松の具現化を目指します。

(1) 芸術文化振興への主な取り組み

ア 芸術文化公演の企画運営について

鑑賞型事業においては、当財団の音楽と舞台芸術に関する専門性を活かし、質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。

令和7年度は、第12回浜松国際ピアノコンクール優勝者の全国ツアーを展開するほか、市内においてもコンクールゆかりのピアニストを積極的にとりあげた公演等を企画し、コンクールを起点とした浜松市の文化振興の更なる発展の好循環を創出します。

また、浜松ゆかりのアーティストや今後が期待される若手演奏家にスポットをあてた事業、海外バレエ公演、オーケストラ公演など、多彩なジャンルの事業を開催します。

本年度においても、財団が蓄積してきた資産である人材やネットワークを活用し、浜松だから生み出せる魅力や価値を具現化し、市内外へ向けた情報発信に取り組みます。

イ 芸術文化活動等の支援について

様々な分野の市民文化団体等が、芸術文化を通じて地域の活性化や社会課題の解決に取り組むことができる土壌づくりを目指します。

市民主体の創造活動をより活性化させるため、当財団が担っている芸術文化事業を起点とした活動と活動の接点をつくり、活動が抱える課題解決のきっかけづくりを支援します。

また、浜松アーツ&クリエイション事業では、創造性ある活動に挑戦する人材の発掘・育成・交流を促進するための支援活動に取り組みます。財団が令和6年度に実施した市民クリエイターの個々の活動をつなげる中間支援事業については、令和7年度においても継続し、地域課題への多彩なアプローチを創出します。活動者間や地域とのつながりから生み出される価値を具現化し、発信できるよう取り組みます。

ウ 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

令和7年度は、第12回浜松国際ピアノコンクールの優勝者の全国ツアーを展開し、入賞者の躍進につなげるとともに、市内外にコンクールの成果をアピールします。また、第13回浜松国際ピアノコンクール開催に

向け、実行委員会を新たに立ち上げるなどの準備を進めます。

また、次代の芸術文化の担い手の育成については、アクトシティ音楽院事業を中心とした浜松市市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）との事業連携等をすすめて、市民が支える未来人材の育成に取り組めます。

芸術文化のもつ効用を最大限に活かし、芸術文化を都市の活力につなげ、市民の誇りとなる取り組みを目指します。

(2) 所管施設の運営

ア 指定管理施設の運営について

令和7年度は、9施設の管理を担います。

施設の運営にあたっては、浜松市の「文化振興ビジョン」に示された各施設の役割を認識し、指定管理者協定に基づく適切な管理運営を実施します。また、経済・物価動向等の影響を十分に留意し、効率性を意識した運営に努めます。

アクトシティ浜松については、浜松市が計画する改修工事と部分休館がDゾーンから開始されます。この改修に伴い、Dゾーン内の研修交流センターは令和7年7月1日から14か月の休館、浜松市楽器博物館は令和7年12月1日から7か月の休館となります。他ゾーンは稼働していることから、開館運営にあたっては、これまで以上に施設利用者の安全と利便性の保持を進め、適切な施設管理に努めます。

また、浜松市浜北文化センターについては、前年度からの改修工事による約15か月の休館を経て、令和7年7月に開館します。今回の改修により、施設の機能と利便性が増すことから、改修後の施設を最大限に活かす運営に努めます。

イ 施設の利用促進について

施設の利用促進のため、社会情勢の変化による利用者のニーズ等を敏感にとらえ、施設ごとに最適な手法を見つけ出し、利用者の満足度を高める運営に努めます。

利用者にとって使いやすい施設であるよう、常時、サービス改善と運用見直しに努めます。

また、地域性を活かした特長ある運営を施設の価値として大切にします。

さらに、アクトシティ浜松における大型コンベンション開催については、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューローとの連携のもと、アクトシティ浜松のリニューアル後を見据えた誘致活動を積極的に進めます。

(3) 法人経営計画

令和6年度に南海トラフ地震臨時情報・巨大地震注意情報が発表された経験をふまえ、令和7年度においても、平素からの災害・事故等の危機管理と実践力の高い訓練等に取り組めます。

また、社会や環境の変化等に柔軟に対処するため、自ら考え工夫し、創造性をもって行動できる職員の育成を目指すとともに、日々の改良・改善の積み重ねに重点を置いた取り組みを進めます。

(4) 財団の経営状況（資産と負債の状況）

次の表は、当財団の令和3年度末から令和5年度末にかけてのバランスシート（貸借対照表）です。

基本財産及び退職給付引当金は、全額特定の預金等で別に確保しているほか、支払能力を示す流動比率を200%以上に維持するなど、健全な経営状況にあります。

また、特定資産では、ピアノコンクール積立資産や文化芸術活動助成事業積立資産など、様々な芸術文化事業の実施や創造的な市民活動への助成に活用するための資産を準備しています。

今後も公益事業を継続的に実施していくため、引き続き経営努力を行います。

過去3年間のバランスシート（貸借対照表）比較

（単位：千円）

科目	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	増減 R4-R3	増減 R5-R4
I 資産の部					
1 流動資産（現金・預金ほか）	798,560	833,251	755,304	34,691	△ 77,947
2 固定資産					
(1) 基本財産	2,139,769	2,139,769	2,139,769	0	0
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	243,395	264,830	293,622	21,435	28,792
事業基金	183,144	183,144	183,144	0	0
広域文化基金	8,119	8,119	8,119	0	0
ピアノコンクール積立資産	30,000	45,000	90,000	15,000	45,000
大型公演事業積立資産	35,000	41,000	51,000	6,000	10,000
仲道子供音楽事業資産	16,742	10,290	8,550	△ 6,452	△ 1,740
文化団体活動支援事業積立資産	4,805	2,233	-	△ 2,572	△ 2,233
30周年記念事業積立資産	20,000	20,000	20,000	0	0
文化芸術活動助成事業積立資産	-	-	25,000	0	25,000
退職給付引当率増対策積立資産	-	-	49,700	0	49,700
運用財産積立資産	400,016	400,008	400,000	△ 8	△ 8
(3) その他固定資産					
建物附属設備・什器備品	143	89	36	△ 54	△ 53
リース資産	14,525	32,178	26,451	17,653	△ 5,727
合計	3,894,218	3,979,911	4,050,695	85,693	70,784
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金・前受金・預り金	312,590	291,224	285,947	△ 21,366	△ 5,277
リース債務	7,339	12,059	8,919	4,720	△ 3,140
賞与引当金・役員賞与引当金	28,120	29,855	30,737	1,735	882
2 固定負債					
リース債務	7,377	20,374	17,826	12,997	△ 2,548
退職給付引当金	243,395	264,830	293,622	21,435	28,792
合計	598,821	618,342	637,051	19,521	18,709
III 正味財産の部					
1 指定正味財産（事業基金等）	199,886	193,434	191,694	△ 6,452	△ 1,740
2 一般正味財産					
(1) 基本財産充当額	2,139,769	2,139,769	2,139,769	0	0
(2) 特定資産充当額	497,940	516,360	643,819	18,420	127,459
(3) その他一般正味財産	457,802	512,006	438,362	54,204	△ 73,644
合計	3,295,397	3,361,569	3,413,644	66,172	52,075

2 事業内容

(1) 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

ア 芸術文化公演の企画、運営及び提供

(ア) 事業方針

令和7年度は、第12回浜松国際ピアノコンクール優勝者の全国ツアーとあわせ、浜松でもコンクールゆかりのピアニストによる公演を積極的に取り上げるほか、浜松ゆかりのアーティストの公演も継続して開催します。

世界的な名演奏家たちを招くアクト・プレミアム・シリーズを引き続き開催するほか、ポーランド国立放送交響楽団やアマデウス室内オーケストラといった世界の名門オーケストラを招聘し、上質な音楽鑑賞の機会を提供します。

アクトシティ浜松開館以来継続の新進演奏家を取り上げるアクト・ニューアーティスト・シリーズでは、開催150回を記念し、第12回浜松国際ピアノコンクールで日本人初優勝を飾った鈴木愛美が出演します。

そのほか、歌手活動60周年の記念公演となるシンガー・ソングライターの加藤登紀子公演や、ウクライナ国立バレエ団によるバレエ公演など、多彩なジャンルの公演をお届けします。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・アクト・プレミアム・シリーズでは、第3回浜松国際ピアノコンクール優勝者アレッシオ・バックスとベルリン・フィルのコンサートマスターを務める樫本大進の協演のほか、フルート界の貴公子ジャコーとハーピスト吉野直子、第10回浜松国際ピアノコンクール優勝者のジャン・チャクムルのリサイタル、世界的ピアニストとして活躍する第12回浜松国際ピアノコンクールの審査委員も務めたP. ヤブロンスキーが登場します。
- ・アクト・ニューアーティスト・シリーズでは、150回記念特別版として、鈴木愛美のリサイタルを中ホールで行うほか、注目の若手チェリストである西田翔や15歳でパリ地方音楽院へ留学中のフルート、堀内心優彩が登場します。
- ・オーケストラ事業では、現代最高の女性指揮者として名高いマリン・オルソップが率いるポーランド国立放送交響楽団が注目のピアニスト角野隼人とともに登場します。また、大阪万博に合わせて来日する名門アマデウス室内オーケストラには、浜松国際ピアノコンクールゆかりのピアニストをソリストとして選定中です。
- ・より多くのお客様に音楽を楽しんでいただけるよう、ジブリやディズニーを題材にした親しみやすいコンサートも開催します。

事業名		会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ（クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画）				
No. 148 西田翔（チェロ）	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	5/25	5/25	小学校低学年から第75回全日本学生音楽コンクール1位、第45回霧島国際音楽祭賞を受賞など数々のコンクールで賞を獲得してきた、話題の若手チェリスト。
No. 149 堀内心優彩（フルート）				2023年第26回びわ湖国際フルートコンクールジュニア部門第1位など、数々のコンクールで飛び級や最年少優勝を重ねるフルートの新星。
No. 150 特別版 鈴木愛美（ピアノ）	アクトシティ浜松 中ホール	1/12	1/12	シリーズ150回を記念して、中ホールで開催する特別版。第12回浜松国際ピアノコンクールで日本人初優勝を飾った鈴木愛美が出演する。

事業名		会場	開催予定日	内 容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサート)				
Vol. 39 榎本大進 &アレッシオ・バックス (ヴァイオリン&ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	6/9	ベルリン・フィル第1コンサートマスターとして楽団の最前線で活躍する榎本と、第3回浜松国際ピアノコンクール第1位のバックスによる至高の競演。	
Vol. 40 ジャン・チャクムル (ピアノ)		9/28	第10回浜松国際ピアノコンクール優勝後、ヨーロッパを中心に世界中でリサイタルを行う。また、著名なオーケストラや室内楽奏者との共演も多く、高い評価を得ている。	
Vol. 41 セバスチャン・ジャコー &吉野直子 (フルート&ハープ)		10/16	世界が注目する“フルートの貴公子” ジャコーと、“ハープの女王” 吉野直子による夢のデュオ。	
Vol. 42 ペーテル・ヤブロンスキー (ピアノ)		3/18 予定	第12回浜松国際ピアノコンクール審査委員を務めた五大陸を股にかけて活躍する円熟のピアニスト。	
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル				
Vol. 11 「高雅な踊り」	アクトシティ浜松 中ホール	5/10	日本を代表する浜松出身のピアニスト・仲道郁代が、自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。	
Vol. 12 「ラヴェルの狂気」		10/19		
ディズニー・オン・クラシック ～夢とまほうの贈りもの 2025	アクトシティ浜松 大ホール	6/29	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする。 共催：K-MIX、Daiichi-TV	
第 19 回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」	アクトシティ浜松 中ホール	7/27	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。第 12 回浜松国際ピアノコンクール第 1 位鈴木愛美が協演。 共催：浜松いわた信用金庫、(公財) 浜松交響楽団	
マリン・オルソップ指揮 ポーランド国立放送交響楽団 ピアノ：角野隼斗	アクトシティ浜松 大ホール	9/22	東欧の名門オーケストラと話題の世界的ピアニストが邂逅。指揮者は名だたる楽団を歴任してきたオルソップ。	
アマデウス室内オーケストラ (ソリスト調整中)	アクトシティ浜松 中ホール	9/29	大阪万博に合わせて来日する名門チェンバーオーケストラ。ソリストは浜松国際ピアノコンクールゆかりのピアニストから選定中。	
加藤登紀子 60 周年記念リサイタル	アクトシティ浜松 中ホール	10/26	歌手活動 60 周年を迎える加藤登紀子が、多くの人々の心に残る名曲をお贈りするコンサート。 共催：静岡朝日テレビ	

事業名	会場	開催予定日	内容
ジブリの思い出がいっぱい ～オーケストラによる ドリームコンサート～	アクトシティ浜松 中ホール	11/15	心に響くジブリの思い出の名曲をオーケストラとともに、ザ ブリーズアドベンチャーズの歌声でお届け。 主催：サモンプロモーション
ウクライナ国立バレエ 「雪の女王」	アクトシティ浜松 大ホール	12/14	ウクライナの国立バレエ団が、童話をもとにしたオリジナルバレエ「雪の女王」を上演。 主催：光藍社
手寫葵 Concert 2025 ～Piano & String Quartet～	アクトシティ浜松 中ホール	12/21	聴き手の心を揺さぶる類稀なる歌声で数々の主題歌やCM ソングを手掛ける手寫葵のコンサート。 共催：サモンプロモーション
ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2025	アクトシティ浜松 大ホール	12/27	ディズニーの輝く名曲の数々を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏でお贈りする大人のための音楽会。 共催：K-MIX、Daiichi-TV

イ 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

(ア) 事業方針

令和7年度は、アクトシティ浜松友の会において、昨年度に引き続き会員限定のイベントを実施するほか、遠州鉄道株式会社の協力によるコンサート来場者へのお帰りきっぷの付与など、会員満足度の向上に努めます。

文化情報誌「HCF News」は、ターゲットの心に響く発信を目指し、インタビューや見どころなどの記事を1事業のみに焦点を絞り、紙媒体とデジタル媒体で発行します。また、配布先やWeb 広告のターゲット・配信エリアも詳細に設定することにより、効果的な販売促進に取り組みます。

情報提供として、チラシ・ポスターの配布掲示や SNS・Web を活用した情報発信、更には活動報告書や映像を通して当財団の活動を発信します。

(イ) 重点的に取り組む事項

あ アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(あ) 財団主催事業や受託公演の情報提供として、毎月会員へダイレクトメールを送付

(い) 財団主催事業や受託公演のチケット販売（チケット代金の10%を会員割引）

・オンラインショップもしくは電話による予約

(う) 会員へのサービス提供

- ・浜松市楽器博物館入館料の割引
- ・**新規** 浜松市秋野不矩美術館入館料の割引
- ・オークラアクトシティホテル浜松及びアクトプラザ店舗の利用サービス
- ・会員限定イベントの実施（リハーサル見学など）
- ・遠州鉄道と連携したお帰りきっぷの発行

い 広報活動

活 動 名	内 容
財団公式ホームページサイト 管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNS による情報発信	YouTube や SNS (Facebook、X、Instagram) を活用した広報活動を展開。
情報誌「HCF News」の発行	SNS や Web 広告との連携を強化するため、発行時期や回数・記事量を見直し、事業単位での情報提供を行い、提供先（ターゲット）を明確にします。
財団事業活動報告書及び 活動紹介映像の制作	令和 6 年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作および Web 上で公開。
事業の広報	・事業のチラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。 ・インターネットによる検索連動型広告やディスプレイ広告による広報活動。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報の実施。

う HCF オンラインショップの運営

(あ) チケット販売（受託販売を含む）

- ・チケットセンターでの引き換え（友の会会員のみのみ）、宅配、コンビニ発券、電子チケットのいずれかを選択可能。
- ・クレジットカードを利用しないコンビニ決済サービス及び後払い決済サービスの導入

(い) グッズ販売（財団作成 CD・DVD・書籍・記念商品など）

【取扱商品】

- ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
- ・バンド維新関連製品（CD・スコア集・パート譜）
- ・浜松市楽器博物館関連製品（CD・DVD・記念商品）

え アクトシティ浜松インフォメーション・チケットセンターの運営

(あ) アクトシティ施設案内、公演情報の提供

(い) 財団チケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び受託公演）

(う) アクトシティ友の会会員へのチケット販売及び引き換え

ウ 芸術文化活動の支援及び交流の促進

(ア) 事業方針

市民文化団体の日頃の研鑽の成果発表の場として「浜松市民文化フェスティバル」を開催します。

また、演奏会を開催したい主催者と地域の演奏家をつなぐマッチング事業にも取り組み、演奏機会の提供と演奏家の活動支援を行います。

吹奏楽事業としては、全国から吹奏楽指導者が浜松に集う「日本吹奏楽指導者クリニック」の開催や、一流の作曲家の楽曲提供により、子どもたちが作曲家から直接指導を受ける浜松オリジナル企画「バンド維新」を開催します。

アーツ&クリエイション事業では、市民による創造的な活動を支援するため、相談・助言・伴走支援をはじめ、クリエイター同士のマッチング事業を実施します。活動者間のネットワークの構築や、地域と企業、クリエイターとの連携を促進することで、地域の活性化を目指します。

また、浜松で活動する文化芸術団体への活動支援としての助成金事業、民間企業からの寄付による若手演奏家への助成事業を通して、文化芸術活動の活性化および市民活動の支援を行います。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・「浜松市民文化フェスティバル」では、市民文化団体や学校による全10部門の公演や展示を開催し、日頃の成果発表の場を提供するとともに、団体間の交流を促進します。
- ・「バンド維新」では、楽曲解説や演奏技術の指導方法などを作曲家から直接指導を受け、作品や演奏についてより深く学ぶ高度な人材育成の機会を作ります。
- ・アーツ&クリエイション事業では、様々な空間をギャラリーとしてアート作品を展示し、アーティストと企業や個人などの出会いの場を創出するアーティストマッチングや、地域で企画されたイベントをサポートすることで、活動の活性化と継続を図るプロジェクト支援などに取り組みます。
- ・アーツ&クリエイションのネットワークを活用する事業として、アーティストやクリエイターを対象にゲストスピーカーを招いた座談会を行い、課題の共有や新たな交流の促進を図るとともに、クリエイターズファイルを発行し、アート作品や活動内容を周知し、活動の場を増やすことに取り組みます。
- ・若い音楽家のための助成金は、オークラアクトシティホテル浜松チャリティーコンサートで集まった寄付を基に、若い世代の音楽家の演奏会開催を支援し、浜松を拠点とする演奏家の育成を目指します。

あ 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第55回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/16～18	全国の音楽指導者が集い行われる講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
浜松市民文化フェスティバル 2025	アクトシティ浜松 他市内諸施設	8～12月	市民団体や学校による音楽・舞踊公演及び展示会。連盟や協会所属団体、市民公募の出演枠により全10部門を実施する。
第33回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/18～26	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催する。 共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会
第71回 浜松市芸術祭演劇・人形劇部門	アクトシティ浜松 クリエート浜松 福祉交流センター 他	11～1月	市内の劇団による演劇・人形劇公演。 (全6公演)

事業名	会場	開催予定日	内容
バンド維新	アクトシティ浜松	3/15	吹奏楽をテーマに学生や指導者、作曲家が交流し、次代を担う音楽人材を育成する。
演奏会運営事業	市内各所	通年	コンサート主催者の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供。

い 浜松版アーツカウンシル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松アーツ&クリエイション事務局運営	—	通年	・文化芸術活動における課題や将来展望などの実態調査を行うとともに、活動に対する相談窓口を設け、情報提供や助言を行う。 ・浜松市創造都市推進事業補助金の公募から事業実施に対する相談・助言などの伴走支援を行う。 ・地域で活動するアーティストの活動支援などにより地域の活性化を目指す。 ・アーティストの企画力の向上を支援し、企業・団体等のマッチングによる活動範囲・拠点の増加に取り組む。
支援事業	市内各所	通年	ジャンル間の相互理解やジャンルを超えた交流を促進する「アーティストマッチング」や、活動の場を発掘・紹介・活用する「オフギャラリー活用事業」、活動者間のマッチング事業を展開する「PeerCross project」などを行う。

う はままつ文化芸術活動助成事業

地域の芸術文化活動の充実と活性化を目的に、市民の文化活動を支援します。

- ・支援の内容：助成金の交付（上限額10万円）、広報活動支援、販売促進支援など

え **新規** オークラアクトシティホテル浜松 Presents 「若い音楽家のための助成金」事業

オークラアクトシティホテル浜松より寄付いただいた資金を基に、浜松市出身または浜松市在住の若手音楽家が浜松市内で開催する事業を対象とした助成金事業を実施します。

対象事業：浜松市出身及び浜松市在住の若手音楽家が浜松市内で開催する事業

年齢：35歳まで（令和7年5月1日現在の年齢が35歳以下）

対象期間：令和7年5月1日～12月31日

助成金額：上限額10万円／1件

申請期間：令和7年3月1日～3月31日

お 浜松市内文化団体・文化協会との連携

（あ）浜松市浜松文化協会

旧浜松市で活動する主要文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行います。

（い）浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（11団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに支援を行います。

また、実施する文化活動に対し、「浜松市内文化協会助成金」を交付します。（上限額15万円）

か インターンシップ実習

県内・近隣県・芸術系大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れを行います。

エ 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

(ア) 事業方針

音楽の都・浜松を目指し、次の世代を担う人材の育成やまちなかコンサート、浜松国際ピアノコンクールなどの事業を、浜松市とともに推進します。

次代を担う人材の育成では、アクトシティ音楽院での人材育成事業と、サウラ音楽ホールや天竜壬生ホールでの育成事業を相互に連携させ、未来の音楽の都・浜松を担う人材の裾野拡大から、世界で活躍する人材の発掘・育成までを一貫して推進します。

令和6年度に40周年を迎えた「プロムナードコンサート」をはじめとした街なかでのコンサートは、吹奏楽や合唱、ジャズなど多彩なジャンルで開催し、音楽のあふれるまちづくりの具現化を目指します。

浜松市が実施する浜松市創造都市関連事業として、地域のクリエイティブ人材と国内から招へいたクリエイティブ人材のミートアップや協働事業、ワークショップ等を行う「ハママツ・クリエイティブ・ウィークエンド（仮称）」に協力します。

浜松国際ピアノコンクール事業では、全国17か所の優勝者ツアーの開催や、次回第13回の開催に向けての実行委員会の開催、審査委員の選定、募集要項の内容検討などを行います。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・こども音楽鑑賞教室やジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松、浜松吹奏楽大会などの事業により、子どもたちが音楽に親しむ機会と自らが演奏する機会を創出し、子どもたちの豊かな感性と創造力を育みます。
- ・アクトシティ音楽院アカデミーコースでは、「浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル」や「パークリー音楽大学事業（ジャズクリニック）」にて国内外の講師陣によるレッスンやセミナーなどを開催し、浜松から世界で活躍する演奏家の輩出を目指します。
- ・アクトシティ音楽院コミュニティコースでは、市民を対象に吹奏楽やジャズ、合唱、主催者育成のための講座などを開講し、本地域の音楽活動の活性化を図ります。
- ・まちなかコンサート開催事業では、引き続き「プロムナードコンサート」などにより、中心市街地のにぎわいと市民の発表の機会を創出します。
- ・「ハママツ・クリエイティブ・ウィークエンド（仮称）」では、市民の創造性を刺激するステージイベントや音楽創作の実践を伴うワークショップ、国内外のクリエイティブ人材による協働プロジェクトの展示、オンラインコンテンツによる発信などを行い、創造的な活動を生み出す機会の提供に協力します。
- ・浜松国際ピアノコンクール事業として、優勝者の全国ツアーを行うほか、入賞者披露演奏会を都内で開催し、浜松市の取り組みとピアノコンクールを全国に周知します。

あ パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	年4回	アクトシティのパイプオルガンを、より多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサートを開催する。
オルガンのパイプを作ってみよう	アクトシティ浜松 中ホール	年1回	夏休みの小中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成する。
オルガン演奏会事業	福祉交流センター	年5回	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深める。

い まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11 月 (全 25 回)	市内の学校及び一般の吹奏楽団が出演する屋外コンサート。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供する。 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	6/29	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～10 月 (全 5 回)	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュースする、合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する屋外コンサート。

う ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。 音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
J C 第 31 回定期演奏会	アクトシティ浜松	9/7	
J O 第 31 回定期演奏会		9/21	
スプリングコンサート 2026		3/8	

え 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
浜松吹奏楽大会 2026			
第 14 回 全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/21	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。キタラでのプロムナードコンサートをはじめ、市内中学校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催する。
第 38 回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール 他	3/22	

お 都市間交流事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
音楽文化都市交流事業	札幌コンサート ホール kitara	10～11 月	本市が音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市との文化交流事業。民間の合唱団隊を派遣予定。

か こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
第 25 回こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/4・5 全4回公演	市内全小学5年生を対象に、良質なオーケストラ演奏に触れる機会を提供する。

き アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
アカデミーコース（世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業）			
第 31 回浜松国際管楽器 アカデミー&フェスティバル	アクトシティ浜松 他	8/4～9	国内外の演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催する。
バークリー音楽大学事業	アクトシティ浜松	1 月(予定)	アメリカ・バークリー音楽大学との連携事業。大学教授らによる入学オーディションやジャズクリニックを開催する。
修了生公演事業	市内小中学校 他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。
コミュニティコース（市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業）			
ジャズ講座	クリエート浜松	7～9 月 (全 5 回)	守屋純子らによるジャズ初心者を含む一般向けの音楽文化講座。演奏を交えながら気軽にジャズを楽しんでいただくための知識を提供する。
吹奏楽セミナー	アクトシティ浜松	4/6	保科洋音楽監督を講師に、吹奏楽課題曲講習会を開催する。
	サーラ音楽ホール	5～1 月 (全 5 回)	浜松ジュニアプラス対象のパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催する。
	あいホール	9/28	小編成バンドの音楽表現に特化した実践的な指導法を教える指導者向け講座。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出しする。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」音源・楽譜貸出事業	—	通年	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎が制作した楽曲の音源・楽譜を、アマチュア音楽団体へ無料貸し出しする。
主催者育成セミナー	クリエート浜松	5～3 月 (全 12 回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成する事業開催実践セミナー。2 月には、受講生の企画によるコンサートを開催する。
合唱セミナー	アクトシティ浜松	1 月	広く一般に合唱を普及させるためのセミナーを開催する。
音楽指導者派遣事業	市内学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
子ども音楽セミナー	市内諸施設	10～12 月	小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナー等を開催する。

く ランチャタイムコンサート事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
ランチャタイムコンサート	市内小学校等	9月～12月 (調整中)	市内小学校等のお昼休み時間に、ミニコンサートと管楽器体験を実施し気軽に音楽に接する機会を提供。

け **新規** ジェイミーのコンサート事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
ジェイミーのコンサート (仮称)	福祉交流センター	12月 (予定)	ピアニスト小川典子がライフワークとして取り組んでいる、自閉症児とそのご家族を主な対象としたコンサート。

こ **新規** クリエイティブシティブースター事業

事業名	会場	開催予定日	内 容
ハママツ・クリエイティブ・ウィークエンド (仮称)	アクトシティ浜松 展示イベントホール	11/29～30	地域や国内外から招聘したクリエイティブ人材とのミートアップ、協働プロジェクト、ワークショップ等を行うイベント。

さ 浜松国際ピアノコンクール事業

(あ) 優勝者ツアーの開催

日程	都市	内 容	会 場
4/20	別府	リサイタル 別府アルゲリッチ音楽祭	しいきアルゲリッチハウス
4/26	大津	指揮：阪哲朗／京都市交響楽団 びわ湖の春 音楽祭 2025	びわ湖ホール大ホール
4/27	大津	リサイタル びわ湖の春 音楽祭 2025	びわ湖ホール小ホール
6/15	秋田	リサイタル	秋田アトリオンホール
6/19	東京	入賞者披露演奏会 東京公演 (入賞者6名出演)	紀尾井ホール
6/21	新潟	ガラコンサート (第1～3位出演)	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール
6/29	名古屋	ガラコンサート (第1～3位出演)	愛知県芸術劇場 コンサートホール
7/11	小松	オーケストラアンサンブル金沢	小松市團十郎芸術劇場 うらら
7/23	福岡	尾高忠明指揮／大阪フィルハーモニー交響楽団	アクロス福岡 シンフォニーホール
7/27	浜松	佐々木新平指揮／浜松交響楽団 夢に追いかぜコンサート	アクトシティ浜松中ホール

日 程	都 市	内 容	会 場
8/16	高崎	群馬交響楽団	高崎芸術劇場
11/8	広島	沼尻竜典指揮／広島交響楽団 音楽の花束・秋 ～広響名曲コンサート	広島国際会議場
11/16	東京	新日本フィルハーモニー交響楽団 仙台コンクール優勝者（Vn）とのガラコンサート	すみだトリフォニーホール
11/22	札幌	リサイタル 《札幌市長賞》	札幌コンサートホール kitara
12/12	さいたま	日本フィルハーモニー交響楽団 日本フィル・ソニックシティ「第九」演奏会 2025	ソニックシティ
1/12	浜松	リサイタル アクト・ニューアーティスト・シリーズ特別版	アクトシティ浜松中ホール
1/23	ロンドン	企画公演（英国）	Kings Place
2/14	岡山	リサイタル	岡山ハレノワ
2/22	静岡	高関健指揮／富士山静岡交響楽団 第 135 回定期演奏会	清水文化会館マリナート
2/23	浜松	高関健指揮／富士山静岡交響楽団 第 135 回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール
2/26	川崎	リサイタル	ミューザ川崎 シンフォニーホール
3/7・8	札幌	尾高忠明指揮／札幌交響楽団 第 675 回定期演奏会	札幌コンサートホール Kitara
3/13・14	名古屋	クレメンス・シュルト指揮／ 名古屋フィルハーモニー交響楽団 第 543 回定期演奏会〈姫の肖像〉	愛知県芸術劇場
4/4	京都	京都市交響楽団 スプリング・コンサート	京都コンサートホール

(い) 第13回コンクール開催準備

- ・実行委員会の開催
- ・専門委員の選任、専門委員会の開催
審査委員候補、募集要項案の策定
- ・公式デザイン案の策定
- ・優勝者・入賞者特典の策定

(う) 国際音楽コンクール世界連盟、アーリンク・アルゲリッチ財団との情報交換及びノウハウの共有

(2) 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

ア アクトシティ浜松

(ア) 運営の考え方

アクトシティ浜松は、令和7年7月から研修交流センターを皮切りに、順次、改修工事に入ります。改修工事に伴う休館中は、利用者からの問い合わせや相談に丁寧に応じるほか、利用可能施設を活用した提案などを通して、可能な限り利用者の要望に応じた形での開催実現に努めます。あわせて、リニューアルオープンに向けて、利用者のスムーズな回帰を目指します。

コンベンションやイベント等の誘致活動では、全館が利用可能となる令和11年以降を視野に入れた活動を進めるとともに、休館中においても浜松駅周辺への誘客が途絶えることのないよう、その時々利用可能施設への案内を行うほか、近隣の民間施設等の活用も提案します。引き続き、全国の学会や大会の会場への出展や興行者へのアプローチにより、今後のコンベンションやイベントの開催予定や、主催者や参加者のニーズなどを情報収集することで、アクトシティ浜松での開催につなげていきます。

さらに、商業施設やホテル、近隣施設等との連携を密にし、アクトシティ全体としての誘客及び回遊のきっかけ作りにも取り組みます。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・コンベンション誘致活動では、改修工事後を見据え、大型コンベンション開催計画や開催地に求められる条件などを情報収集し、浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携した活動を進めます。大・中ホール、コンgresセンターが改修に入る期間においては、展示イベントホールおよび研修交流センターを活用した提案を行います。
- ・サポートサービスでは、配信機材の貸出や看板の作成・設置、清掃の代行発注など、利用者のニーズに可能な限り対応するほか、弁当やケータリングでは、地元食材による豊富なメニューを提供するとともに、そうした取り組みをホームページなどで積極的に発信します。
- ・利用者アンケートの活用や現状分析を行うことで、変化する利用者ニーズを的確に把握し、リピーターの獲得を図ります。また、施設利用や接客に関する勉強会や研修会を通して職員レベルの向上を図り、利用者へのサポート体制を強化します。
- ・アクトシティをより身近に感じてもらうため、浜松まつり期間中における屋外広場でのイベント開催のほか、普段は見ることができない施設の裏側を巡る探検ツアー、アートを活用した館内のクリスマス装飾などを実施します。

事業名		開催予定日	内容
施設利用の促進（3事業）			
	コンベンション誘致	通年	全国で行われる学術集会や年次大会への出展を通して、主催者や参加者から情報収集を行い、令和7年度から始まる施設の改修工事終了後を見据えた、誘致活動を行うとともに、大・中ホール、コンgresセンターが改修に入る期間においては、展示イベントホールおよび研修交流センターを活用した提案を行い、誘致に努める。 また、経験豊かなコンベンション専任の担当者を予約ごとに配置し、ハード・ソフト両面からスムーズな大会運営をサポートすることにより、主催者の負担を軽減し、リピーターを増やす。

事業名		開催予定日	内容
	サポートサービスの充実	通年	メニューにないニーズにも可能な限り対応し、施設利用者の満足度向上につなげる。利用者から特に発注の多い弁当においては、地元食材を活用した弁当やヴィーガン（完全菜食主義）用の弁当などバリエーションを増やし、きめ細かな対応で更なる充実を図る。
	利用者ニーズの把握と利用の促進	通年	常に変化している利用者のニーズを的確に把握するため、プロジェクトチームにおいてアンケートの活用や現状分析を行うことで、利用促進やリピーター獲得につなげていく。また利用に関する問題点を洗い出し、解決に向けて取り組み、より利用しやすい施設を目指す。
アクトシティ活性化事業（3事業）			
	アクトでやрмаいか浜松まつり	5/3～5	浜松まつり期間中、屋外広場のサンクンプラザにて吹奏楽やダンス等のステージイベントを開催するほか、アクトシティ内店舗を中心とした屋台の出店を行う。また、浜松駅のインフォメーションや浜松科学館などの近隣施設と連携を図ったスタンプラリー等を実施することで、来場者の回遊も促す。
	アクトシティ大冒険！	8/6	アクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側、制振装置など、普段は見ることのできない場所等を大冒険するバックステージツアーを開催する。
	クリスマス装飾	11～12月	浜松ゆかりのアーティストに依頼し、市民ロビーからアクトタワーにかけてアートを活用した装飾を施すことにより、クリスマスの機運を盛り上げる。

イ クリエート浜松

(ア) 運営の考え方

クリエート浜松は、ホールやギャラリーなどの多様な機能を有しており、市民による音楽やダンス、絵画、工作など、多彩な芸術文化活動が日常的に行われています。

令和 7 年度は、3 回目を迎える若手アーティストによる展示やワークショップ「クリエイターズフェス」をさらに発展させ、市内の高校生・大学生、そして新たに地元企業を入れることで、産学官を結び付け、街全体の芸術文化の活性化に貢献します。

また、文化活動や生涯学習の場として地域に開かれた施設とすべく、地域住民や学校、商店、企業と積極的につながり、地域に愛される施設、立ち寄りたくなる施設を目指します。

引き続き、浜松国際交流協会や中部協働センター、人権啓発センターなどクリエート浜松内の機関と連携し、多文化共生や国際理解、生涯学習、人権啓発などの社会課題の解決に向けた取り組みも行います。

様々な活動者が集まるクリエート浜松は、互いの創造性を刺激し合うなかで、新たなモノやコトを創造していく創造空間とすることを目指します。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・「クリエイターズフェス」では、市内の高校生・大学生の企画による展示やワークショップ、浜松注染染めなどの伝統的地域産業との連携展示等を企画し、地域と混ざり合い、新たな連携や創作活動が生まれる場として展覧会を開催します。
- ・浜松市民文化フェスティバル「絵・写・書・茶・花」展では、作品をわかりやすく解説する「アートコミュニケーション」や質疑応答の場を設けることで、制作者と市民の交流を促し、作品の理解と新たに活動を始めるきっかけづくりとします。
- ・クリエート浜松近隣の商店と連携し、来館者に地域の商店や産業を知っていただくとともに、施設にくつろぎやにぎわいを創出する事業として、1 階ロビーや中庭を利用した「クリエート・マルシェ」を開催します。
- ・施設利用者や地域住民の創造活動や生涯学習の成果発表の場として「クリエート夏まつり・冬まつり」を開催し、地域に開かれた施設とします。
- ・市民活動のスタートアップに際し、ふれあい広場を無料提供する「クリエイティブ・ガラ」や、市民企画の事業を伴走支援する「コラボ・ウィズ」、参加者が興味ある講座を開催する「クリハマ楽校」により、市民の主体的な活動を支援します。

事業名		開催予定日	内 容
指定事業（市民文化の振興に資する事業 2 事業）			
浜松クリエイターズフェス ～みんなの手～		7/18～20	浜松ゆかりの若手アーティストによる作品展示やワークショップ、公開制作などを高校・大学や地元企業とも連携して行うほか、「クリエート・マルシェ」も同時開催する。
浜松市民文化フェスティバル 「絵・写・書・茶・花」展		8/22～24	3 階のギャラリーにおいて、地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花などの多彩な文化を披露する。また、作品をわかりやすく解説するアートコミュニケーションを行うことで、文化団体と来館者の交流の場を創出する。

事業名		開催予定日	内 容
指定事業（コミュニティ活動の活性化と社会課題の解決に資する事業 4 事業）			
	クリエートの夏まつり	8/24	地域住民や関係機関と連携し、地域の文化活動や施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題に対する啓発事業を行う。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、(公財)浜松国際交流協会
	クリエートの冬まつり	1/24・25	地域住民や関係機関と連携し、地域の文化活動や施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題に対する啓発事業を行う。 共催：市中部協働センター
	第16回はままつグローバルフェア	2/8	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会
	ふれあい広場活性化事業 Creative Gala（クリエイティブ・ガラ）	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
指定事業（その他の事業 3 事業）			
	クリエート／文芸館コラボ事業	通年	文芸館の広報PR促進事業。(展覧会屋外ラッピング制作、館内ガチャ俳句企画、1 階ロビーの浜松文芸館ミニギャラリーブース展示等)
	文化情報発信事業	通年	当施設利用の文化団体を取材し、各団体の情報発信を行う。
	活動情報の収集・データベース化事業	通年	市民アーティストの活動をデータベース化し、活動者同士の連携を構築するとともに、人材バンクの文化活動への活用を図る。
自主事業（5 事業）			
	クリエート・マルシェ	年3回程度	近隣の商店と連携して出店者を募り、「クリエート・マルシェ」を開催。来館者に地域の商店や産業を知ってもらう機会を提供するとともに、クリエート浜松のにぎわいを創出する。また、中庭にもオープンカフェを開き、来館者がくつろぎやすい空間づくりを行う。
	第28回リフレッシュ理科教室	6/21	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作教室。 共催：(公財)応用物理学会
	クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出する。
	地元自治会との連携イベント	年2回程度	市民の文化活動・生涯学習の場として地域に開かれた施設とすべく、自治会や地域住民と積極的につながり、「地域に愛される施設」「立ち寄りたくなる施設」を目指す。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

ウ 浜松市浜北文化センター

(ア) 運営の考え方

浜北文化センターは令和 7 年 6 月に大規模改修工事が完了し、7 月から施設利用を再開します。

当館の特長として、近隣に浜北駅があり市中心部からのアクセスが良いこと、大型ショッピングセンターの出店や宅地開発が進み、若い世代が増加傾向にあること、ホールの舞台が演劇やダンスなどの実演芸術に向いていることなどが挙げられます。この特長を活かし、静岡県舞台芸術センター（SPAC）と連携して、県西部の中高生を対象とした演劇鑑賞事業や身体表現ワークショップを開催します。また、ファミリー層を対象とした「ゆるやかコンサート」や、将来の舞台芸術を担う若年層向けの「舞台裏方体験講座」も行います。さらに、大型公演やコンベンションの招致にも積極的に取り組みます。

改修後の施設を知っていただく「リニューアルツアー」や「バックステージツアー」をはじめ、ホームページの刷新や SNS を活用した施設広報を通じて、施設の魅力を発信し、新規の施設利用者獲得に努めます。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・ SPAC との連携による「中高生鑑賞事業」は、劇場を広義の教育の場と捉え、演劇鑑賞に相応しい大ホールを活用することで、県西部地域の若い世代へ文化体験を提供します。
- ・ 身体表現ワークショップ「すばっくおやこ小学校」は、SPAC 俳優が先生となり、小学生とその親が対話をしながら身体を動かすことにより、親子間の理解促進や身体表現による子どもたちの心身の育成を図ります。
- ・ 「舞台裏方体験講座」では、高校生を対象にプロの舞台演出や機材の使い方に関するワークショップを行うことで、将来の舞台芸術を担う若い世代の育成を図ります。
- ・ 来館者が行き交う施設エントランスでの若者のパフォーマンスを企画することにより、新しい施設の活用方法を、SNS 発信などによりアピールします。
- ・ 館内を巡る「リニューアルツアー」や親子を対象とした「バックステージツアー」の開催、ホームページ等による施設の魅力や最新情報の提供により、改修後の施設を知っていただき、新規利用者の獲得につなげます。

事業名		開催予定日	内 容
指定事業（12 事業）			
	舞台裏方体験講座	8/21・22	舞台技術スタッフから高校生へホールの舞台設備を紹介しつつ、演劇作品の製作に役立つ舞台、音響、照明などの基礎知識を講義する。
	新規 身体表現ワークショップ 「すばっくおやこ小学校」	8/30・31	親も子も同じ「小学生」となり、SPAC 俳優が先生となって手を動かしたり話し合ったりして、共同作業や対話中心の授業を行う。
	新規 浜北文化センターリニューアルツアー	1 回以上	館内を巡りながら、施設利用の際に使用できる機能や設備について、施設改修前後の違いや新たに想定できる利用方法などを紹介する。
	新規 夏休みバックステージツアー	8 月中旬	親子で改修後のホール舞台裏を探検し、文化施設とそこで行われている活動について興味関心を深めていただくツアーを実施する。
	浜松市民バンドフェスティバル	1/25	浜松市民バンド協議会との協働による、市内の一般（社会人）吹奏楽団が一堂に会する演奏会。

事業名		開催予定日	内 容
	ゆるやかコンサート	1 回	子ども連れの親御さんやその家族などを主な対象として、周囲に気兼ねなく音楽の生演奏を楽しむ機会を提供する。
	新規 文化活動伴走支援事業	通年	地域文化コミュニティなどが文化活動のための作業を行う場の提供や、文化コミュニティと個人をつなげる支援を行う。
	新規 はまきたライブスクエア	通年	来館者が行き交う施設エントランスなどの空間でパフォーマンスに触れていただくことにより、改修後の施設を楽しむ機会を提供する。
	新規 コンベンションの招致	通年	大会や学会などのコンベンションによる施設利用を招致し、地域の諸活動活性化につなげる。
	施設広報	通年	ホームページやSNS 等を通じて、リニューアルされた施設の魅力を伝える。また、施設で行われる文化活動を広報面から支援する。
	新規 ユニバーサルデザインへの対応	通年	施設のユニバーサルデザイン対応状況に合わせ、施設職員の研修や利用者への啓発活動を行う。
	地域事業への協力	8 月	地元住民や関係団体と連携し、地域活性化と住民との交流促進を目的に実施。夏まつり等、地域催事の開催を支援する。
自主事業 (3 事業)			
	SPAC 中高生鑑賞事業	2 月	県西部の中高生を対象とした演劇の鑑賞事業。 共催：静岡県舞台芸術センター
	大型公演の招致	通年	大型公演のプロモーションを手掛ける地方メディア社等に対する招致活動を行う。
	施設利用付随サービスの提供	通年	業者紹介、コピー、FAX 送受信、タクシー手配など施設利用の利便性を高めるためのサービスを提供する。

エ 浜松市天竜壬生ホール

(ア) 運営の考え方

天竜壬生ホールは、郊外と中山間地域の境界に立地する施設として、両地域の市民が集い、交流が盛んに行われることで、天竜地域に活気がもたらされるよう施設運営に取り組みます。

良質な鑑賞機会の提供では、プロの演奏家をホールに招く「壬生の響き」や、コンサートを学校やふれあいセンターなど地域の公共施設に出張して行う「天竜区ふれあいコンサート」等を実施し、地域に生の演奏を届けます。

市民文化活動の活性化としては、北遠地域で活動する吹奏楽や和太鼓、絵手紙などの市民文化団体との協働により、コンサートや展示会を開催するとともに、小学生と中学生を対象にしたミュージカルやダンスのワークショップを通じて、次世代の人材育成を行います。

また、演奏体験などの施設利用体験型事業の実施や SNS 発信による広報に加え、天竜区以外の事業所や団体・機関等に向けても施設を PR することで、更なる利用促進につなげるとともに、コンサートの公演時にはマルシェを開催することで、地域の活性化にも寄与します。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・小中学生を対象にした舞台芸術育成事業「MIBU ワークショップ」では、ミュージカルとダンスの 2 つの講座を実施します。月 2 回のレッスンと 12 月の成果発表公演を通じて、表現力を学び、心身の成長を図ります。また、市内全域に参加を呼びかけたり、市内で行われるイベントに参加したりすることで、ワークショップの活動を全市に PR します。
- ・市民文化団体との協働により行う「MIBU 吹奏楽フェスティバル」、「みぶ遠州の和太鼓」、「みぶ絵手紙展」では、市民文化団体相互の研鑽を図るとともに、団体同士の交流を促進します。
- ・地域にゆかりのある演奏家によるコンサート「壬生の響き」では、第 12 回浜松国際ピアノコンクールの出場者でもある掛川出身のピアニスト佐藤元洋によるリサイタルを行います。地元商工会の協力によるマルシェも同時開催し、地域との連携にも努めます。
- ・施設利用体験型事業としての「みぶアーティストステージ」や「ステージ演奏体験」では、参加者に当ホールの豊かな響きや木のぬくもりを体感していただき、新たなホール利用者となっていけるよう、施設の魅力を PR します。
- ・北遠地区の文化振興の拠点施設として、ホールまで足を運びにくい地域へも一流の演奏家を派遣し、音楽を身近に感じていただくアウトリーチ事業「天竜区ふれあいコンサート」を開催します。

事業名		開催予定日	内 容
指定事業（文化振興事業 2 事業）			
壬生の響き 佐藤元洋ピアノリサイタル		9/12	地域に縁のあるアーティストによる、ホールの特性を活かしたコンサート。第 12 回浜松国際ピアノコンクールの出場者である掛川市出身のピアニスト佐藤元洋が出演する。
MIBU New Year Concert 2026		1/12	地域の市民楽団と著名演奏家が共演する市民参加型コンサート。
指定事業（芸術普及事業 7 事業）			
MIBU ワークショップ ダンスクラス		通年 (月 2 回)	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス		通年 (月 2 回)	
みぶアーティストステージ		6/29	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露する。

事業名		開催予定日	内 容
	みぶ遠州の和太鼓 2025 夏編	8/10	静岡県西部の和太鼓団体によるライブコンサート。
	MIBU 吹奏楽フェスティバル	11/2	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。
	MIBU ワークショップ 成果発表公演	12/20・21	MIBU ワークショップ受講生たちによる、創作ダンスとオリジナルミュージカル作品の披露公演。
	みぶ絵手紙展	3/6～15	天竜区内や近隣で活動する地域団体との協働企画による絵手紙展覧会。
自主事業 (4 事業)			
	浜松文芸館出張講座	月 1 回	浜松文芸館で実施している企画の中から好評をいただいている講座を出張して実施する。
	ステージ演奏体験	年 5 回程度	ホールの空き日を利用してコンサートピアノを会館側で準備、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供する。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用することができる。
	チケット受託販売	通年	施設利用者の開催公演のチケットを受託販売する。
	魅力発信事業	通年	施設や地域の魅力や情報を Instagram 等の SNS を使って発信する。
自主事業 (共催・協力事業 2 事業)			
	天竜芸術祭芸能発表会	10 月	天竜区内で活動する市民文化団体が実施する芸能祭の舞台運営を支援する。
	天竜区ふれあいコンサート	年 1 回	一流演奏家によるクラシックミニコンサート。天竜区内の学校や公共施設で無料開催し、ホールまで足を運びにくい地域に生演奏を届ける。令和 7 年度の会場は気田小学校を予定。 共催：天竜区ふれあいコンサート実行委員会
その他の事業 (1 事業)			
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

オ 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

(ア) 運営の考え方

市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）は、市民が主体となり、次の世代を担う音楽文化人材を育成することや、市民の新たな文化活動にチャレンジする取り組みを支援します。

令和7年度も引き続き、子育て世代や障がいのある方を対象にしたコンサートやワークショップを開催し、誰もがホールに親しむ機会を創出します。

また、小学生から高校生までの吹奏楽団に市民が指導者として関わったり、大学生が子どもたちの講座で講師になったりするなど、次の世代を市民が育成していく事業にも取り組みます。

さらに、「アイディア・チャレンジ」では、市民の新たなチャレンジを積極的に支援するとともに、ホールの活用方法についても考える機会とします。

小学校と地域企業見学のマッチングや、「秋祭り」での文化活動の発表やマルシェの開催を通して、市民に親しまれる施設を目指します。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・ジュニアブラス（小学生）から中学生吹奏楽団、ユース吹奏楽団（中高生）まで世代ごとに楽団を形成し、吹奏楽による一貫した次世代育成を行います。市吹奏楽連盟やNPOとの協働により、市民が育成に関わる形をつくとともに、若手指導者の交流事業も実施します。
- ・「アイディア・チャレンジ」は市民の企画を実現する事業です。応募者の自由な発想を尊重し、企画段階から当日の実施までを当ホールが伴走支援します。さらに、活動者と人材を求める団体とのマッチングを行うとともに、ホールの活用方法を模索する機会とします。
- ・乳幼児と保護者を対象にした「ゆるやかコンサート」や、障がいのある方を対象にした「ハートフルコンサート」を開催し、誰もがホールに親しんでいただける機会をつくります。
- ・常葉大学浜松キャンパスとの協働により、幼児向けのワークショップやパパ・ママ向けのエクササイズなど、子育て世代を対象にした講座を開催します。また同時に、大学生にとっての地域社会での実践教育の場とします。
- ・地域住民や地元企業と連携して、日頃の文化活動の発表や地元産品の物販などを行う「秋祭り」を開催し、市民に親しまれ、気軽に集っていただける施設を目指します。

事業名		開催予定日	内 容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 6事業）			
ゆるやかワークショップ・コンサート事業 [乳幼児]	年1～2回	気軽に来館して様々な芸術文化を体験する場を提供し、乳幼児と保護者がホールを知る最初の一步となるイベントを企画する。	
浜松ジュニアブラス育成事業 [小学生]	通年	小学生有志による合同吹奏楽バンド育成事業。生涯学習活動として、次世代の育成に市民が関わる学びと教えの循環を実践する。 共催：NPO法人浜松生涯学習音楽協議会	
浜松中学生吹奏楽団育成事業 [中学生]	通年	市内中学生による合同吹奏楽バンドの育成を通じて、初等教育から次のステップである中等・高等教育への橋渡しの機能を担う。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会	

事業名		開催予定日	内 容
	浜松ユース吹奏楽団育成事業 〔中高生〕	通年	当ホール開館に合わせて結成された市内の中学から高校世代の吹奏楽バンド育成事業。次代の浜松市の吹奏楽文化の担い手を育成する。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
	大学連携事業	年数回	常葉大学浜松キャンパスと協働し、大学生が自らの学びを活かして、幼児向けの英語ワークショップやリトミック教室、パパ・ママ向けのエクササイズなどを企画する。
	若手指導者交流事業	年1～2回	吹奏楽を題材に指導法を学ぶ講習会や公開リハーサルなど、市内外の指導者との交流を含めた若手指導者交流事業を実施する。
指定事業（市民の音楽文化活動の促進 6事業）			
	市民提案型 創造的活動支援・ホール活性化 「アイディア・チャレンジ事業」	通年	当館を会場とした事業を一般公募し、選定事業について、構想段階から実施までを伴走支援する。
	ユニバーサルコンサート 「ハートフルコンサート事業」	複数回	多目的室やホールを利用し、障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを開催する。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部
	サポーターズクラブ活用事業	通年	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用する。
	運営委員会	通年	当館の主催事業及び施設運営について評価、指導の機能をもつ諮問機関を外部に設置する。
	情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びウェブページの整備を行う。
	多目的室・エントランスロビー活用事業	通年	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示する。
自主事業（2事業）			
	地域・企業連携事業（秋祭り）	11月	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施。文化活動の発表や地元産品の物販などを行う。
	次世代育成交流事業	1月	浜松ジュニアプラスがホストバンドとなり、ジュニア世代（小学生・中学生・高校生）を中心とした吹奏楽や合唱、邦楽などの多彩なジャンルの音楽交流会を開催する。
その他の事業（2事業）			
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
	ネーミングライツ企業との連携	通年	サーラグループが助成するホール活用助成制度の周知及びサーラグループ特別協力事業を開催する。（事業：バンドスピリット等）

(3) 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

ア 浜松市楽器博物館

(ア) 運営の考え方

開館 30 周年を迎える令和 7 年度には、特別展「尺八 SHAKUHACHI（仮称）」を開催します。かつて浜松市に存在した普大寺は、尺八の名曲を多く残した由緒ある寺にも関わらず、あまり知られていません。また、その普大寺跡地においてヤマハ株式会社創業者の山葉寅楠が風琴製造所を創設したエピソードも大変興味深いものがあります。そこで、改めて尺八の歴史や種類、そして世界中に愛好家が存在する現状や浜松にまつわるエピソードを紹介し、日本を代表する伝統楽器「尺八」の魅力に触れていただきます。

令和 7 年 7 月からのアクトシティ浜松研修交流センター大規模改修に伴い、当館も 12 月 1 日から令和 8 年 7 月 10 日まで休館となります。今回の改修では博物館は対象外ですが、休館中は、所蔵資料のデジタルアーカイブ化や整理を進めるとともに、展示内容の一部リニューアルを行います。また、休館中には移動楽器博物館の参加校を増やすなどして、アウトリーチ活動も充実させます。

令和 7 年度も国内唯一の公立楽器博物館として、調査研究の成果を、展示や国際会議への参加などを通じて国内外に広く発信するとともに、教育機関との連携事業により、音楽の都・浜松の博物館として次代の音楽文化の振興に努めます。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・特別展「尺八 SHAKUHACHI（仮称）」では、当館で所蔵している江戸時代の貴重な「地無し尺八」を特別展示します。令和 7 年は一節切(ひとよぎり/尺八の前身ともいわれる縦笛)の中興の祖である大森宗勲（そうくん）の没後 400 年にあたり、宗勲が製作した戦国大名上杉家ゆかりの一節切等の展示も予定しています。
- ・イブニングサロンコンサートでは、スペイン大航海時代の弦楽器「ビウエラ」とその音楽を紹介します。出演は東京音楽大学講師の水戸茂雄です。また、尺八界で唯一の人間国宝である野村鋒山が尺八の魅力を語る演奏会も実施します。
- ・レクチャーコンサートは、日本を代表する尺八奏者の藤原道山と地無し尺八の演奏家で研究者でもある志村哲が、虚無僧寺「普大寺」と地無し尺八の魅力に迫ります。また、流派を超えた 5 人の若手尺八奏者が、現代表現による尺八の演奏をお届けします。
- ・休館までの期間、引き続き市民に演奏の機会を提供しながら世界の楽器を紹介する「音楽の広場」や、楽器体験ワークショップ、楽器製作ワークショップを実施し、楽器や世界の音楽文化の魅力をより身近に感じていただきます。
- ・休館中には、移動楽器博物館を拡大して実施したり、職員が他の博物館や教育機関に出向いて講座や連携事業を実施したりするなど、館外のイベントを充実させます。

事業名		開催予定日	内 容
特別展・企画展・常設展（4 事業）			
企画展 「海をわたった楽器たち 多彩な文化の地 ラテンアメリカの旅」		4/1～5/13 (1/11～)	他地域から伝わりラテンアメリカで発達した楽器を中心に展示し、その移動や普及の背景となった歴史、社会、風土、文化などを紹介する。
企画展 「尺八 SHAKUHACHI（仮称）」		7/12～11/30	かつて浜松に存在した普大寺との繋がりから、尺八の歴史や種類のほか、世界中に愛好家が存在するエピソードなど、尺八の今も紹介し、魅力を再発信する。

事業名		開催予定日	内 容
	ミニテーマ展示	通年	1つの展示ケースを利用し、テーマに沿って世界の楽器を紹介するミニ展示。
	常設展の運営	通年	地域別、種類別、年代別に約1,500点の楽器を常設展示。
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場（4事業）			
	展示室ガイドツアー	通年	展示室の主な楽器について、テーマに沿って職員がわかりやすく解説するガイドツアー。
	ギャラリートーク	通年	一つの楽器に焦点をあて、実演などを交えて行う職員による解説。
	ミュージアムサロン	通年	国内外で活躍するプロの演奏家による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。
	シリーズ音楽の広場	通年	地域の音楽家や職員等による展示室でのミニコンサート。
演奏会（レクチャーコンサート）（2事業）			
	その昔浜松にあった虚無僧寺 「普大寺」と地無し尺八（仮称）	7/12	普大寺に焦点をあて、尺八の歴史や名曲を地無し尺八を使って紹介する。 演奏：藤原道山、志村哲
	若手尺八奏者5人による 超流派尺八グループ（仮称）	9/14	古典のみならず、現代の表現を求めて活動する気鋭の若手実力者5名による演奏。 演奏：Shakuhachi Five
演奏会（イブニングサロンコンサート）（3事業）			
	スペイン大航海時代の楽器 「ビウエラ」とその音楽	4/26	16世紀のスペイン王宮で愛された弦楽器でありながら、当時のものはほとんど現存しない「ビウエラ」の復元楽器による演奏と解説。 演奏：水戸茂雄
	人間国宝として尺八の魅力を語る（仮称）	10/18	尺八界の現役唯一の人間国宝という立場から、歴史や現状、未来について演奏と共に語っていただく。 演奏：野村峰山
	セルパン（仮称）	調整中	フランスで生まれた、蛇の意味を持つ木製金管楽器セルパンのコンサート。
講座・ワークショップ（3事業）			
	ワークショップ 「一節切を作ってみよう（仮称）」	7/26	企画展の関連イベント。尺八の一種「一節切（ひとよぎり）」を製作するワークショップ。 講師：相良保之、マツ・ギラン
	ワークショップ 「ペットボトルの蓋で作る尺八（仮称）」	8月	夏休みの親子工作イベント。 講師：田中隆文（邦楽ジャーナル編集長）
	ワークショップ 「とり笛を作ろう！」	通年	ボール紙とストローでとり笛を作って音を出す。 講師：楽器博物館ボランティア、職員

事業名		開催予定日	内 容
市内小学校移動博物館（9 事業）			
	飯田小学校	5/19～23	市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民へも公開して行う。休館時には、今までより回数を増やして実施。
	中瀬小学校	6/2～5	
	与進北小学校	6/16～20	
	西気賀小学校	10/22～23	
	金指小学校	10/27～28	
	芳川北小学校	12/2～3	
	相生小学校	12/15～19	
	庄内小学校	1/13～15	
	ムンド・デ・アレグリア学校（仮）	調整中	
楽器整理・調査・情報発信（8 事業）			
	常設展整備	通年	展示室、体験ルームの展示替えを行う。休館時には、今までできなかった展示台や大型楽器の展示替えも予定している。
	CD・図録等の販売	通年	所蔵楽器音源の CD、所蔵楽器の図録、オリジナルグッズを販売する。
	所蔵資料の調査・整理・修復	通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復を行う。令和 7 年度は自動演奏ピアノの修復を中心に実施。
	広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	年 2 回程度。市内小中学校・公共施設等に配布する。
	公式ホームページサイトの管理運営	通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信する。言語は英語、ポルトガル語、中国語、韓国語に対応。
	国際会議への参加と発表	11 月	国際博物館会議（ICOM）ドバイ大会への参加し、研究成果の発表だけでなく、多様なコミュニティに積極的に参加し、世界に関する知識を収集する。
	他施設での出張展示	通年	新東名サービスエリアで楽器や楽器に関する情報を展示し、音楽の都「浜松」と楽器博物館の PR を行う。 （ネオパーサ浜松 SA 下り）
	バーチャル博物館の展開	通年	オンラインで館内を見学できるバーチャル楽器博物館を展開。来場が難しい方も、スマートフォンやパソコンから楽器博物館を楽しめる。
他博物館・教育研究機関等との連携（5 事業）			
	静岡文化芸術大学との連携事業	通年	特別展に関する情報を、大学生が同年代に向けて SNS 発信する。静岡文化芸術大学文化政策学部と連携。
	静岡大学との連携事業	通年	収蔵楽器を 3D 化し、VR 機器を利用して体験会を年に 2 回程度実施。静岡大学情報学部と連携。
	科学館との協力事業	1 月予定	ワークショップ「青色 LED を使った電子楽器（PB トーン）を作って演奏しよう」を共同で開催。製作を浜松科学館職員、演奏を当館職員が担当する。

事業名		開催予定日	内 容
	音楽文化・芸能調査	通年	浜松市文化財課、静岡大学情報学部と連携し、市内又は日本の伝承民俗芸能の調査を行う。
	教育機関及び各種団体との連携・協力等	通年	国内外の教育機関や関連する各種団体が主催する事業について連携または協力等を行う。
研修受け入れ (5 事業)			
	学芸員実習	9 月	学芸員資格認定の必須科目である実習を、全国の大学より公募選考にて受け入れる。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
	教職員研修	不定期	浜松市の教職員の研修を受け入れる。
	中学生・高校生職場体験学習	6～11 月	浜松市の中学生・高校生の職場体験を受け入れる。
	中学校との共同授業	年 1 回程度	世界の楽器を通しての国際理解教育を提供する。

イ 浜松文芸館

(ア) 運営の考え方

浜松文芸館は、浜松にゆかりのある文芸人の資料を収集・收藏し、広く市民の皆様知ってもらうために展示活動を行っています。また、市民の文芸活動の拠点として、『浜松市民文芸』の発行と各種講座や講演会、朗読会を実施しています。

令和7年度は、浜松における文芸活動の中で大きな足跡を遺した『浜松百撰』を取り上げた展示を開催します。また、文芸十人の先駆者の知名度を上げるべく、女性作家鷹野つぎ、歌人柳本城西を取り上げた展示を行います。特に、歌人については、近代から現代までの4人の浜松ゆかりの歌人を紹介します。これら年3回の展示では、当館所蔵の資料だけでなく、関係者から提供していただいた新しい資料を織り交ぜた特別展とします。

各種講座や講演会、朗読会の開催にあたっては、第21回伊豆文学賞を受賞した松本茂による執筆の裏側を紹介する講演会を企画し、文芸愛好者の増を図ります。また、地域の大学生と連携した子ども向け講座を夏と冬に開催したり、『浜松市民文芸』における若年層の投稿を促すための取り組みを継続して行ったりすることで、若い世代の文芸館活動への参画を進め、子どもから大人まで各世代にわたり親しみやすい施設を目指します。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・春の特別収蔵展「浜松ゆかりの女性作家 鷹野つぎ展」では、地元尾張町に生まれ、大正から昭和にかけて様々な苦難の中で執筆を続けた鷹野つぎの人生と作品を、母校である現在の浜松市立高校の協力を得て紹介します。夏の特別収蔵展「1957～2024年 浜松百撰の遺したもの」、秋の特別収蔵展「浜松ゆかりの歌人たち…賀茂真淵、柳本城西、山田震太郎、村木道彦」では、浜松百撰編集者や山田震太郎、村木道彦のご遺族の協力で収集した未発表の資料を展示し、新たな視点からの学びを提供します。
- ・一般向けの講座では、人気の高い篆刻初級講座や『万葉集』『源氏物語』『平家物語』『おくのほそ道』など古典に親しむ講座、日本の近現代詩を鑑賞する講座のほか、文芸活動に取り組むきっかけづくりにつながる俳句・短歌・川柳・朗読などの講座を開講します。
- ・子ども向けの講座では、夏に加えて冬の講座を開催し、浜松学院大学や聖隷クリストファー大学教員養成課程の学生の参画を得て、読書や絵本作り、お話づくりの講座を企画します。
- ・当館の活動を広く知ってもらうアウトリーチ企画として、パネルや展示品を市内の図書館や協働センター、小中学校、高校等へ貸し出す事業を実施します。
- ・第71集『浜松市民文芸』は、伝統を守りつつ、特に若い年齢層の投稿を促すため、高校を中心とした広報活動を充実させ、老若男女に親しまれる地域の文芸誌とします。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (3事業)		
特別収蔵展 「浜松ゆかりの女性作家 鷹野つぎ展 ーその生涯と作品ー」	4/1～6/15 (3/1～)	島崎藤村に認められ、大正から昭和にかけて活躍した浜松生まれの女性作家・鷹野つぎの生涯や作品・業績を紹介する。
特別収蔵展 「1957～2024年 浜松百撰の遺したもの」	7/1～10/13	2024年3月で休刊となったタウン誌『浜松百撰』。1957年創刊から67年、通算796号を振り返り、特色ある記事や情報を紹介する。
特別収蔵展 「浜松ゆかりの歌人たち…賀茂真淵、 柳本城西、山田震太郎、村木道彦」	11/1～2/8	近世、近現代から浜松ゆかりの4歌人を紹介する。

事業名		開催予定日	内 容
講座事業（14 事業）			
『源氏物語』入門講座	全6回	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の若菜上・下から柏木の巻までをよむ。 講師：松平和久	
くずし字解読入門講座	全6回	江戸時代に西洋から入ってきた『イソップ物語』。当時の板本（版本）の読解に挑戦する。 講師：勝田敏勝	
川柳入門講座	全5回	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。（初心者向け） 講師：今田久帆	
短歌入門講座	全5回	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。（初心者向け） 講師：柴田典昭	
俳句入門講座 Ⅰ春・Ⅱ初夏・Ⅲ秋・Ⅳ初冬	各4回	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。（初心者向け） Ⅰ：4月 講師：村松二本 Ⅱ：6月 講師：天野薫 Ⅲ：9月 講師：坪井孝之 Ⅳ：11～12月 講師：渥美絹代	
『平家物語』講座	全6回	『平家物語』の巻十二～灌頂巻をよむ。 講師：大石嘉美	
『おくのほそ道』講座	全6回	日本海沿いを歩いた芭蕉がのこした数々の名句をじっくりと鑑賞する。 講師：勝田敏勝	
朗読入門講座	全6回	短詩や随筆をよみながら、声に出すこと、表現することの楽しさを味わう。 講師：堤腰和余	
朗読書講座	全6回	1冊の本を精読し、その世界を朗読で表現する。 講師：堤腰和余	
篆刻初級講座	全6回	文字を学習し、好きな言葉（四字熟語等）の印を作成。 講師：下石哲幸	
日本の近・現代詩をたのしむ	全5回	岩波文庫別冊『声でたのしむ美しい日本の詩』を用い、鑑賞する。 講師：折金紀男 朗読：余川千津子	
『万葉集』講座	全6回	巻七 旋頭歌・巻十 四季の相聞歌抄・巻十四 東歌勘国歌、相聞往来歌抄の歌を中心によむ。 講師：松平和久	
『和泉式部日記』講座	全6回	孤独を分かち合い、折を心得た一組の男女の知性と感性の応酬をよむ。 講師：松平和久	
浜松文芸館出張講座 『おくのほそ道』	月1回	当館で実施している企画の中から、好評をいただいている講座を出張して実施する。 講師：勝田敏勝 会場：天竜壬生ホール	
イベント事業（2 事業）			
朗読会 澤田ふじ子を読む 『宗旦狐』ほか	5/18	朗読を通して、澤田ふじ子作品を味わう。 講師：堤腰和余	
朗読会 小泉八雲を読む	10/19	朗読を通して、小泉八雲作品を味わう。 講師：堤腰和余	

事業名		開催予定日	内 容
講演会事業 (2 事業)			
	史実と小説の間	5/10	伊豆文学賞「鋳物師七郎左衛門」の著者・松本茂が執筆の舞台裏を語る。 講師：松本茂
	季語を輝かせるコツ	11/15	俳句の季語を輝かせるコツについて講演する。 講師：高柳克弘
子ども向け事業 (5 事業)			
	夏休み絵本づくり講座	7/26	小学3年生から6年生対象。自分で作ったお話でおもしろ絵本を作成する。 講師：井口恭子
	楽しいお話づくり講座	8/3	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ること挑戦する。 講師：井口恭子
	夏休み読書感想文講座	8/4・8	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ。 講師：林容子
	冬のこども講座 「お気に入りの本をポップカードにして紹介しよう」	12/6	小学3年生から6年生対象。自分が大好きな本をイラストや文章でカードに書き、皆で紹介しあう講座。 講師：林容子
	冬のこども講座 「とび出すクリスマスカードを作ろう」	12/13・20	クリスマスカード作りに挑戦し、お話に親しむ。 【12/13】小学1年生から3年生対象 【12/20】小学3年生から6年生対象 講師：井口恭子
浜松市民文芸事業 (1 事業)			
	第 71 集の作品募集・選考・編集・発行	9～3 月	市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考し、優秀作品を『浜松市民文芸』として編集・発行する。
調査研究・保存・整理 (1 事業)			
	資料の収集・研究・整理	通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等を行う。
教育機関との連携 (3 事業)			
	入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
	職場体験学習・フィールドワーク受入	通年	フィールドワーク（学外実習）希望者や、市内中高生の職場体験学習の受け入れと出前講座を実施する。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

事業名		開催予定日	内容
クリエートとのコラボ事業（2事業）			
	フォト俳句・短歌展	1/24・25	クリエートの冬まつりの一環として、小中高生が民間団体による写真展の写真を見て作った俳句・短歌を展示する。
	文芸館インフォメーションコーナーの開設	通年	クリエート浜松1階に当館を紹介するコーナーとガチャ機を設置し、広く周知する。
その他事業（5事業）			
	文芸館だより「いざない」発行	年4回	当館の展示や各講座、取組の様子、情報を順次紹介する。
	浜松市文化振興財団自主出版『風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ』販売	通年	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本を販売する。（500円／冊）
	『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売	通年	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本を販売する。 （2,037円／冊）
	出版物・地域伝統品の委託販売	通年	講座講師著書や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品を委託販売する。
	移動浜松文芸館	通年	当館での展示終了後、市内図書館や学校へ展示資料を貸し出し、展示・観覧してもらうアウトリーチ事業。

ウ 浜松市・市民ミュージアム浜北

(ア) 運営の考え方

市民ミュージアム浜北は浜松市博物館の分館であり、浜北地域を中心とした歴史的資料を展示する資料館です。

令和7年度は市民ミュージアム浜北も、浜北文化センターと同じく再開します。再開後のミュージアムでは、これまでの「浜北人骨」や鹿型埴輪「見返りの鹿」などの考古資料、浜北地域の産業を物語る織機をはじめとした暮らしの道具の資料を引き継ぎながら、浜松市博物館による新しい展示も計画されています。新装される展示を紹介するギャラリートークを実施するとともに、講座も併せて行うことで、ミュージアム再開に集まる期待に応えます。また、グッズ販売を通じて、訪れる方々に地域の魅力を再発見していただけるよう取り組みます。

なお、工事完了後の展示再開へ向けて、浜松市博物館と協力して準備を万全に行います。広報面においては、浜北文化センターとの一体的な情報発信により相乗効果を図り、多くの方々に足を運んでいただくことを目指します。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・展示内容の理解を深めていただくためにギャラリートークや講座を開催するほか、ホームページや SNS などの活用、新しいパンフレットの製作などを行い、わかりやすく効果的な情報提供に努めます。
- ・当ミュージアムの特長である体験コーナーを復活するとともに、ミュージアムの魅力を高めるため、展示資料をモチーフとするグッズの販売を開始します。
- ・大規模改修工事の完了後、物品の戻し作業や管理業務などが円滑に進行できるよう浜松市博物館への協力とともに、物品の管理も適正に行います。

事業名		開催予定日	内 容
指定事業 (1 事業)			
	「機織り・浜北の風車づくり」 体験コーナー	通年	ミュージアムの展示にちなんだ機織りや浜北の風車づくりの体験を提供する。
自主事業 (2 事業)			
	新規 浜北歴史講座	8/10	新装したミュージアムをギャラリートークにより解説し、参加者には更に講座を聴講していただくことで理解を深めていただく。 協力：浜松市博物館
	新規 販売事業	通年	メモ帳やポストカード（予定）などのミュージアムグッズ等の製作及び委託による販売を行う。

エ 浜松市秋野不矩美術館

(ア) 運営の考え方

日本画家・秋野不矩の画業と功績を顕彰するとともに、本画並びに素描、関連資料の展示・保存、調査研究を進め、その文化的価値を後世に伝えます。併せて、建築家・藤森照信の建築物の顕彰と、秋野不矩作品や建物の適正な維持・管理に努めます。

展覧会事業では、不矩生誕 120 年を 3 年後に控えていることを念頭に調査・研究を進め、作家としての側面のみならず、人間・秋野不矩の生き様、当時の芸術的潮流、時代背景などから多角的・多面的に作品を読み解き、日本画界に大きな足跡を残した秋野不矩芸術の幅広い理解と浸透を図ります。

令和 7 年度は、特別展及び所蔵品展を貫く展覧会のテーマを「まなざし」として展開します。作家の心の内に沸き起こる「創造の源流」に目を向け、作家の生き様、表現への飽くなき追求、それを支える作家の確固たる眼差しを顕彰していきます。

教育普及事業並びに教育支援事業では、就学前教育・小・中・高、特別支援教育への支援、教員の資質向上を一層強めていきます。また、外部アドバイザーや大学などの研究機関、浜松市美術館、秋野不矩の会など専門機関と連携して事業の充実を図ります。

(イ) 重点的に取り組む事項

- ・特別展・所蔵品展を通して、「画家の創造へのまなざし」を共通のテーマとすることで、特別展と所蔵品展とで一貫性のある展覧会事業を展開します。また、関連講座やワークショップを行うことで、より不矩を知っていただくとともに、日本画に親しんでいただく機会とします。
- ・年 5 回開催する所蔵品展では、秋野不矩の「創造の眼(まなこ)」に視点を当て、不矩表現の源流となっているものを所蔵品展ごとのテーマに合わせて多面的・多角的に紹介します。
- ・特別展では、不矩と同世代の作家たちの作品や画業を幅広く紹介し、20 世紀芸術の潮流と作家のまなざしを大観すると共に、秋野不矩芸術の一層の理解を図ります。
- ・不矩の人物像や作品、時代の影響などを紹介する講演会や、不矩の技法を伝える実技研修を開催するとともに、若年層や家族層には、表現に親しむ夏休みワークショップや音楽イベント(ミュージアムコンサート)を開催し、新しい来館者層の拡大を図ります。
- ・広報では、新聞社や全国の美術館情報を掲載する雑誌・配信サイトに積極的に情報を提供します。HP 上の知りたい情報をより検索しやすくして利用しやすい環境に更新すると共に、X・Instagram 等で展覧会の最新情報や美術館の様子などを随時アップデートして、全国からの誘客を図ります。

事業名		開催予定日	内容
展示事業 (8 事業)			
	所蔵品展 (5 事業)	※展覧会名称・期間・出展作品は変更する場合があります。	
	創造の眼Ⅰ ～ 心施 ～	4/1～20	心施とは他人の傷も自分の傷の痛みとして感じとるまなざしを指す。形なきもの(心や思い)をどのように見える形で表現してきたのか、不矩の創造の源に迫る。
	創造の眼Ⅱ ～ 眼施 ～	4/26～5/25	眼施とは相手や対象を思いやる心で見つめるまなざしのことを指す。作品からにじみ出る温かさや優しさの奥にある、表現せずにはいられない作家の思いに迫る。
	創造の眼Ⅲ ～ 慧眼 ～	8/5～31	慧眼とは真理を見抜くまなざしであると共に、一切衆生の理を見通す知恵のまなざしである。不矩が本当に描きたかったモノ・コトから見えてくる大切にしたい価値に迫る。

事業名		開催予定日	内 容
	創造の眼Ⅳ ～天眼～ てんげん	11/22～1/12	天眼とは外見や肩書といった表面的なものから価値を見出すのではなく、眼で見える以上のことまで見ようとするまなざしを指す。不矩作品から天眼の視点に迫る。
	創造の眼Ⅴ ～慈眼～ じげん	3/17～	慈眼とは慈しみのこもった慈悲のまなざしを指す。慈愛に溢れた不矩表現の源流をエピソードや随筆資料と絡め、より深い表現理解・作家理解に迫る。
	特別展 (3 事業)		
	京都 大原に生きた画仙人 「小松均 展 自然をまなざす」	6/14～7/27	小松均は、目に見える自然の形だけでなく、その背後にある世界や精神までも描きつくそうと水墨表現で独自の画境を拓いた。併せて、同様の眼差しで人間や自然を追求した秋野不矩の本画・素描 30 点程度を展示する。
	「風景へのまなざし」	9/13～11/9	不矩が生きた 20 世紀は、日本画が目覚ましい変革を遂げた時代で、今では巨匠と呼ばれる作家たちが独自の作風を築き上げた。(株)ヤマタネの所蔵品から風景画の優品と不矩の《雨雲》と《シヴァ寺院》も紹介する。
	京都市立芸術大学芸術資料館所蔵 「京都の日本画 ー京都画壇の俊英たちー」	1/24～3/8	明治 13 年に京都で日本初の公立美術学校が設立され、現在の京都市立芸術大学まで数多くの俊英たちを輩出してきた。本展では明治から現代に至る京都の日本画の流れを一望し、不矩作品と共にその魅力を紹介する。
展覧会関連事業・教育普及事業 (6 事業)			
	館内ギャラリートーク・ 団体向け見学前ガイド	通年	秋野不矩の人物像や表現の変遷、藤森建築、特別展の内容をより理解いただくため、見学前ガイドや展示室内でのギャラリートーク、対話型鑑賞を実施する。
	展覧会関連講演会・講座	調整中	特別展出品関係者や展示テーマに係る専門家、館長、学芸員等による講演会や講座を、秋野不矩や特別展に関するテーマで開催する。
	教育普及講演会・実技研修事業	通年	秋野不矩の画業の顕彰と共に、美術教育や幼児期の表現についての理解や支援に関する講演会を開催。
	児童向けワークショップ事業	調整中	特別展開催期間や長期休暇期間中に児童や親子向けの表現に親しむワークショップを開催する。
	教育プログラムの受け入れ	通年	小中高生対象の職場体験学習、校外学習、教員の資質向上研修などの教育プログラムの受け入れを行う。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
地域連携・広報・その他事業 (6 事業)			
	ミュージアムコンサート	8/30	美術館の空間に合った音を奏でる演奏家を起用した館内ミニコンサート。作品を鑑賞しながら音楽も楽しんでいただき、音楽ファンなど新規層の来館を促す。

事業名		開催予定日	内 容
	市民ギャラリーの貸出及び利用者支援	通年	当館企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し、市民の創作活動の発表の場とする。また、展覧会広報を含む開催支援も行う。
	浜松市美術館「市展」への協力	年1回	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務を行う。
	地域との協働連携事業	通年	天竜地域の産業、商店街等と連携したグッズの開発・販売及び地域企業と協働した次世代文化を担う人材育成等を行う。
	公式ホームページサイトの管理運営及びSNSによる情報発信	通年	公式ホームページの管理運営及びXやInstagram等を活用した情報発信を行う。
	売店事業	通年	図録、ハガキ、グッズ等の販売及び在庫管理を行う。
調査研究・保存・整理（1事業）			
	作品および資料の収集・研究・整理	通年	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集を行う。

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 事務局体制

ア 職員数（令和7年4月1日現在）

令和7年度は、アクトシティ浜松Dゾーン改修による休館等をふまえ、職員の人数調整を実施しています。

■当初予算比較

（単位：人または千円）

	令和7年度	令和6年度	増 減
市派遣職員（常勤役員）	-	-	-
市派遣職員	1	-	1
常勤役員	1	1	-
正規職員	43	44	△ 1
契約職員	8	6	2
嘱託員	37	43	△ 6
職員数合計 ※	90	94	△ 4
職員人件費	537,767	560,761	△ 22,994

※令和7年4月1日の実配置人数です。（当初予算策定時の予定人数から変更あり）

■当初人員比較

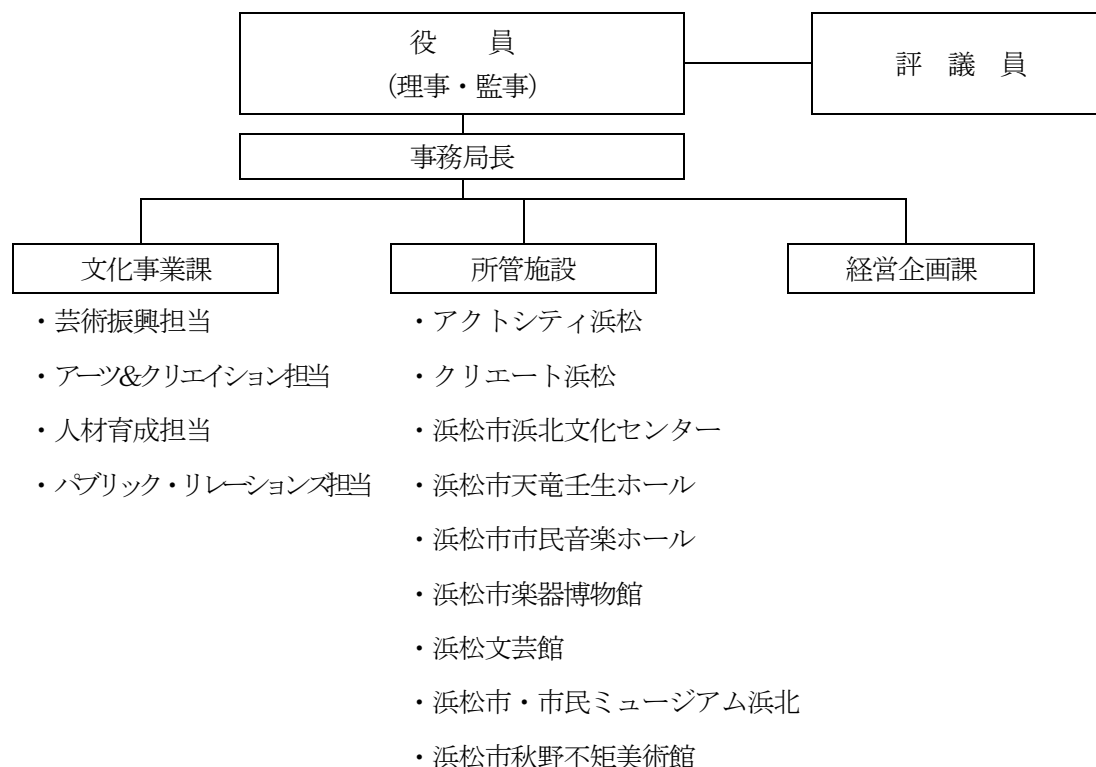
（単位：人）

	令和7年度	令和6年度	増 減
常務理事	1	1	0
事務局長	1	1	0
文化事業課	24	22	2
アクトシティ浜松	16	20	△ 4
クリエート浜松	7	9	△ 2
浜松市浜北文化センター、浜松市・市民ミュージアム浜北	5	2	3
浜松市天竜壬生ホール	4	4	0
浜松市市民音楽ホール	6	6	0
浜松市楽器博物館	10	11	△ 1
浜松文芸館	3	3	0
浜松市秋野不矩美術館	4	5	△ 1
経営企画課	9	10	△ 1
合 計	90	94	△ 4

イ 組織体制

組織体制は、文化事業課、所管施設及び経営企画課で構成します。

令和7年度組織図



(2) 利用料金収入の目標達成 (当初予算比較)

施設の改修工事に伴う休館による影響などを見込んだ利用料金収入額の設定とします。

(単位：千円)

指定管理施設	令和7年度	令和6年度	増減
アクトシティ浜松	632,745	660,000	△ 27,255
クリエート浜松	52,128	51,018	1,110
浜松市浜北文化センター	47,840	-	47,840
浜松市天竜壬生ホール	7,566	8,300	△ 734
浜松市市民音楽ホール	-	-	-
浜松市楽器博物館	26,667	40,030	△ 13,363
浜松文芸館	408	370	38
浜松市秋野不矩美術館	11,000	-	11,000
合計	778,354	759,718	18,636

※アクトシティ浜松は、施設改修工事に伴い一部施設が休館します。

※浜松市浜北文化センターは、施設改修工事に伴い4～6月まで全館休館します。

※浜松市市民音楽ホールは利用料金制度が導入されていません。

※浜松市楽器博物館は、施設改修工事に伴い12月から休館します。

※秋野不矩美術館は令和7年度から利用料金制度が導入されました。

(3) 管理業務の見直し

保守などに関しては、適切な施設管理を最優先に考え、物価高騰の影響を十分に留意しながら経費削減に努めます。

設備等保守業務に係る委託額の比較（当初予算額対比）

（単位：千円）

指定管理施設	令和7年度	令和6年度	増減	主なもの
アクトシティ浜松	408,709	375,577	33,132	舞台管理・設備保守業務等
クリエート浜松	65,827	66,161	△ 334	舞台管理・設備保守業務等
浜松市浜北文化センター、 浜松市・市民ミュージアム浜北	73,649	16,815	56,834	舞台管理・設備保守業務等
浜松市天竜壬生ホール	22,189	22,000	189	舞台管理・設備保守業務等
浜松市市民音楽ホール	50,100	50,167	△ 67	舞台管理・設備保守業務等
浜松市楽器博物館	1,660	1,660	0	音響機器保守、機械警備業務等
浜松文芸館	234	257	△ 23	情報通信設備保守業務
浜松市秋野不矩美術館	13,084	10,703	2,381	設備保守・清掃・燻蒸業務等
合計	635,452	543,340	92,112	

※浜松市浜北文化センター及び浜松市・市民ミュージアム浜北は、令和6年4月～令和7年6月まで改修により休館

(4) 資産運用による安全で効率的な財源の確保

基本財産の活用にあたっては、浜松市の指導のもと、財団資産運用規程に基づき、安全かつ効率的な運用を図ります。

(5) 外部監査による透明性の確保

監査法人による外部監査を行うことにより、公益法人会計基準に則った会計処理の徹底を図るとともに、財団運営の透明性を確保します。

(6) 内部通報窓口及び外部公益通報窓口の設置

法人内に内部通報窓口を設置するとともに法律事務所による公益通報窓口を外部に設置し、不正行為の予防または早期対応を図り、適正な職場環境の推進と法人運営に努めます。

令和 7 年 度

予 算 の 状 況

令和7年度 公益財団法人浜松市文化振興財団 収支予算書

令和7年度公益財団法人浜松市文化振興財団の予算は次に定めるところによる。

収支予算書（損益ベース）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	8,760	5,070	3,690
基本財産運用益計	8,760	5,070	3,690
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,067	1,551	1,516
特定資産運用益計	3,067	1,551	1,516
③ 事業収益			
入場料収益	39,434	63,379	△ 23,945
チケット手数料収益	2,926	2,900	26
イベント関連収益	16,448	18,671	△ 2,223
協賛金・共催事業収益	5,457	20,617	△ 15,160
受取会費	10,000	10,000	0
広告料収益	1,554	1,100	454
使用料収益	6,015	7,170	△ 1,155
手数料収益	10,906	9,954	952
図書販売収益	114	110	4
売上収益	4,112	5,284	△ 1,172
施設利用料金収益	702,646	624,766	77,880
観覧料収益	37,167	39,830	△ 2,663
事業収益計	836,779	803,781	32,998
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,331,915	1,288,817	43,098
受取指定管理料等計	1,331,915	1,288,817	43,098
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	165,124	112,440	52,684
受取受託金計	165,124	112,440	52,684
⑥ 受取補助金等			
受取市補助金	0	140	△ 140
受取補助金等計	0	140	△ 140
⑦ 受取負担金			
受取事業市負担金	82,973	183,763	△ 100,790
受取負担金計	82,973	183,763	△ 100,790
⑧ 受取寄付金			
受取寄付金	100	100	0
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,794	1,763	31
受取事業基金振替額	1,587	2,160	△ 573
受取オークラ助成事業資産振替額	750	0	750
受取寄付金計	4,231	4,023	208

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
⑨ 雑収益			
受取利息	225	6	219
雑収益	725	904	△ 179
雑収益計	950	910	40
経常収益計	2,433,799	2,400,495	33,304
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	3,967	3,714	253
給料手当	370,366	395,178	△ 24,812
臨時雇賃金	47,306	41,146	6,160
退職給付費用	24,104	23,078	1,026
福利厚生費	68,085	71,416	△ 3,331
交際費	40	298	△ 258
会議費	80	106	△ 26
懇談会費	1,616	5,779	△ 4,163
旅費交通費	21,973	40,088	△ 18,115
通信運搬費	10,892	12,771	△ 1,879
減価償却費	10,479	9,270	1,209
消耗什器備品費	3,320	3,152	168
消耗品費	27,215	31,535	△ 4,320
修繕費	16,274	17,421	△ 1,147
印刷製本費	24,292	35,022	△ 10,730
燃料費	376	319	57
光熱水料費	55,072	54,497	575
使用料賃借料	38,045	43,057	△ 5,012
保険料	3,924	4,022	△ 98
諸謝金	44,229	65,254	△ 21,025
租税公課	58,333	61,837	△ 3,504
支払負担金	736,341	742,081	△ 5,740
支払助成金	5,485	11,356	△ 5,871
委託費	769,756	703,590	66,166
手数料	12,532	23,217	△ 10,685
広告料	16,379	17,673	△ 1,294
商品仕入	2,290	0	2,290
支払利息	440	380	60
事業費計	2,373,211	2,417,257	△ 44,046
② 管理費			
役員報酬	3,571	3,402	169
給料手当	56,163	53,127	3,036
退職給付費用	2,528	2,348	180
福利厚生費	9,909	9,424	485
交際費	80	80	0
旅費交通費	250	250	0
通信運搬費	250	250	0
減価償却費	1,822	903	919

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
消耗品費	160	160	0
印刷製本費	50	50	0
使用料賃借料	120	150	△ 30
保険料	744	728	16
諸謝金	70	70	0
租税公課	1,073	934	139
支払負担金	510	490	20
委託費	10,144	9,273	871
手数料	2,460	1,100	1,360
支払利息	120	50	70
管理費計	90,024	82,789	7,235
経常費用計	2,463,235	2,500,046	△ 36,811
当期経常増減額	△ 29,436	△ 99,551	70,115
当期一般正味財産増減額	△ 29,436	△ 99,551	70,115
一般正味財産期首残額	3,238,326	3,187,608	50,718
一般正味財産期末残額	3,208,890	3,088,057	120,833
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	237	3	234
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 4,368	△ 3,926	△ 442
当期指定正味財産増減額	△ 4,131	△ 3,923	△ 208
指定正味財産期首残高	191,099	191,694	△ 595
指定正味財産期末残高	186,968	187,771	△ 803
III 正味財産期末残高	3,395,858	3,275,828	120,030

収支予算書内訳表（損益ベース）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：千円）

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	4,380	0	4,380	0	8,760
基本財産運用益計	4,380	0	4,380	0	8,760
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	987	2	2,078	0	3,067
特定資産運用益計	987	2	2,078	0	3,067
③ 事業収益					
入場料収益	39,434	0	0	0	39,434
チケット手数料収益	2,926	0	0	0	2,926
イベント関連収益	16,448	0	0	0	16,448
協賛金・共催事業収益	5,457	0	0	0	5,457
受取会費	10,000	0	0	0	10,000
広告料収益	1,554	0	0	0	1,554
使用料収益	5,871	144	0	0	6,015
手数料収益	10,738	168	0	0	10,906
図書販売収益	114	0	0	0	114
売上収益	4,112	0	0	0	4,112
施設利用料金収益	680,678	22,928	0	960	702,646
観覧料収益	37,167	0	0	0	37,167
事業収益計	814,499	23,240	0	960	836,779
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,223,709	26,841	81,365	0	1,331,915
受取指定管理料等計	1,223,709	26,841	81,365	0	1,331,915
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	165,124	0	0	0	165,124
受取受託金計	165,124	0	0	0	165,124
⑥ 受取負担金					
受取事業市負担金	82,973	0	0	0	82,973
受取負担金計	82,973	0	0	0	82,973
⑦ 受取寄付金					
受取寄付金	100	0	0	0	100
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,794	0	0	0	1,794
受取事業基金振替額	1,587	0	0	0	1,587
受取オークラ助成事業資産振替額	750	0	0	0	750
受取寄付金計	4,231	0	0	0	4,231
⑧ 雑収益					
受取利息	0	0	225	0	225
雑収益	718	7	0	0	725
雑収益計	718	7	225	0	950
経常収益計	2,296,621	50,090	88,048	960	2,433,799

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	3,917	50	0	0	3,967
給料手当	367,420	2,946	0	0	370,366
臨時雇賃金	47,045	261	0	0	47,306
退職給付費用	24,002	102	0	0	24,104
福利厚生費	67,538	547	0	0	68,085
交際費	40	0	0	0	40
会議費	80	0	0	0	80
懇談会費	1,616	0	0	0	1,616
旅費交通費	21,964	9	0	0	21,973
通信運搬費	10,793	99	0	0	10,892
減価償却費	10,089	390	0	0	10,479
消耗什器備品費	3,244	76	0	0	3,320
消耗品費	26,835	380	0	0	27,215
修繕費	15,894	380	0	0	16,274
印刷製本費	24,262	30	0	0	24,292
燃料費	366	10	0	0	376
光熱水料費	55,063	9	0	0	55,072
使用料賃借料	37,667	378	0	0	38,045
保険料	3,839	85	0	0	3,924
諸謝金	44,191	38	0	0	44,229
租税公課	57,307	1,026	0	0	58,333
支払負担金	708,877	27,464	0	0	736,341
支払助成金	5,485	0	0	0	5,485
委託費	754,225	15,531	0	0	769,756
手数料	12,408	124	0	0	12,532
広告料	16,376	3	0	0	16,379
商品仕入	2,290	0	0	0	2,290
支払利息	423	17	0	0	440
事業費計	2,323,256	49,955	0	0	2,373,211
② 管理費					
役員報酬	0	0	3,571	0	3,571
給料手当	0	0	56,163	0	56,163
退職給付費用	0	0	2,528	0	2,528
福利厚生費	0	0	9,909	0	9,909
交際費	0	0	80	0	80
旅費交通費	0	0	250	0	250
通信運搬費	0	0	250	0	250
減価償却費	0	0	1,822	0	1,822
消耗品費	0	0	160	0	160
印刷製本費	0	0	50	0	50
使用料賃借料	0	0	1,080	960	120
保険料	0	0	744	0	744
諸謝金	0	0	70	0	70
租税公課	0	0	1,073	0	1,073

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
支払負担金	0	0	510	0	510
委託費	0	0	10,144	0	10,144
手数料	0	0	2,460	0	2,460
支払利息	0	0	120	0	120
管理費計	0	0	90,984	960	90,024
経常費用計	2,323,256	49,955	90,984	960	2,463,235
当期経常増減額	△ 26,635	135	△ 2,936	0	△ 29,436
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 26,635	135	△ 2,936	0	△ 29,436
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 26,635	135	△ 2,936	0	△ 29,436
一般正味財産期首残額	1,671,626	77,913	1,488,787	0	3,238,326
一般正味財産期末残額	1,644,991	78,048	1,485,851	0	3,208,890
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	237	0	0	0	237
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 4,368	0	0	0	△ 4,368
当期指定正味財産増減額	△ 4,131	0	0	0	△ 4,131
指定正味財産期首残高	191,099	0	0	0	191,099
指定正味財産期末残高	186,968	0	0	0	186,968
III 正味財産期末残高	1,831,959	78,048	1,485,851	0	3,395,858

予定貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：千円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	3,219	3,219	0
普通預金	461,356	448,660	12,696
定期預金	100,000	100,000	0
未収金	140,055	137,055	3,000
未収利息	2,360	1,808	552
前払金	5,188	8,188	△ 3,000
立替金	689	689	0
棚卸資産	3,921	4,005	△ 84
貸倒引当金	△ 28	△ 28	0
流動資産計	716,760	703,596	13,164
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	1,490,000	1,490,000	0
定期預金	649,769	649,769	0
基本財産計	2,139,769	2,139,769	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	347,659	321,027	26,632
事業基金	181,557	183,144	△ 1,587
広域文化基金	6,003	8,119	△ 2,116
ピアノコンクール積立資産	90,000	105,000	△ 15,000
大型公演事業積立資産	116,000	131,000	△ 15,000
仲道子供音楽事業資産	5,411	7,205	△ 1,794
文化芸術活動助成事業積立資産	20,000	22,500	△ 2,500
退職給付引当率増対策積立資産	39,644	45,921	△ 6,277
オークラ助成事業資産	0	750	△ 750
運用財産積立資産	400,000	400,000	0
特定資産計	1,206,274	1,224,666	△ 18,392
(3) その他固定資産			
建物附属設備	0	0	0
什器備品	0	0	0
ソフトウェア	739	950	△ 211
リース資産	23,901	35,978	△ 12,077
その他固定資産計	24,640	36,928	△ 12,288
固定資産計	3,370,683	3,401,363	△ 30,680
資産合計	4,087,443	4,104,959	△ 17,516
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	162,458	162,458	0
前受金	77,570	76,570	1,000
預り金	46,919	46,919	0
リース債務	12,228	12,081	147
賞与引当金	32,217	31,717	500
役員賞与引当金	492	492	0
流動負債計	331,884	330,237	1,647

(単位：千円)

科目	当年度	前年度	増減
2 固定負債			
リース債務	12,042	24,270	△ 12,228
退職給付引当金	347,659	321,027	26,632
固定負債計	359,701	345,297	14,404
負債合計	691,585	675,534	16,051
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
事業基金	181,557	183,144	△ 1,587
仲道子供音楽事業資産	5,411	7,205	△ 1,794
オークラ助成事業資産	0	750	△ 750
指定正味財産計	186,968	191,099	△ 4,131
(うち特定資産への充当額)	(186,968)	(191,099)	(△4,131)
2 一般正味財産	3,208,890	3,238,326	△ 29,436
(うち基本財産への充当額)	(2,139,769)	(2,139,769)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(671,647)	(712,540)	(△40,893)
正味財産合計	3,395,858	3,429,425	△ 33,567
負債及び正味財産合計	4,087,443	4,104,959	△ 17,516

資金計画

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度予算額
1 受入資金	
1 基本財産運用収入	8,760
2 特定資産運用収入	3,067
3 事業収入	836,779
4 指定管理料等収入	1,331,915
5 受託金収入	165,124
6 負担金収入	82,973
7 寄付金収入	100
8 特定資産取崩収入	45,014
9 雑収入	950
当期収入合計	2,474,682
前期繰越収支差額	411,863
収入合計	2,886,545
2 支払資産	
1 事業費支出	2,338,628
2 管理費支出	85,674
3 特定資産取得支出	26,632
4 リース債務返済支出	12,052
当期支出合計	2,462,986
当期収支差額	11,696
次期繰越収支差額	423,559

給与費明細書

区 分	職 員 数	給 与				福 利 厚生費等※4	合 計
		報 酬	給 与	職員手当	計		
本年度 当 初 予算額	財団職員等 ※1、2 90 人	千円 6,612	千円 273,228	千円 153,301	千円 433,141	千円 104,626	千円 537,767
	非常勤役員等 ※3 21 人	926	-	-	926	-	926
	市派遣職員 -	-	-	-	-	-	-
	合 計 ※2 111 人	7,538	273,228	153,301	434,067	104,626	538,693
前年度 当 初 予算額	財団職員等 ※1、2 97人	6,190	282,118	166,187	454,495	106,266	560,761
	非常勤役員等 ※3 21人	926	-	-	926	-	926
	市派遣職員 -	-	-	-	-	-	-
	合 計 ※2 118人	7,116	282,118	166,187	455,421	106,266	561,687
比 較	財団職員等 ※1、2 △ 7人	422	△ 8,890	△ 12,886	△ 21,354	△ 1,640	△ 22,994
	非常勤役員等 ※3 0人	-	-	-	-	-	-
	市派遣職員 -	-	-	-	-	-	-
	合 計 ※2 △ 7人	422	△ 8,890	△ 12,886	△ 21,354	△ 1,640	△ 22,994
職 員 手 当 内 訳	千円		千円				
	扶養手当	5,166	時間外手当	26,421			
	通勤手当	7,428	管理職手当	9,700			
	住居手当	3,814	期末勤勉手当	98,180			
	特殊勤務手当	2,592	計 153,301				

※1 財団職員等には、常勤役員、正規職員、契約職員、嘱託員を含みます。

※2 当初予算策定時の予定人数です。(4月1日の実配置人数は変更)

※3 非常勤の理事、監事、評議員

※4 福利厚生費等には、退職給付費用を含みます。